

平成27年度 全国学力・学習状況調査

宮城県の調査結果報告

目 次

I	全国学力・学習状況調査結果の概要	P1
1	調査の目的	
2	調査実施日	
3	調査対象	
4	調査事項及び内容	
5	参加状況	
6	調査結果の概況	
7	今後の対応	
II	各教科の調査の結果	P5
1	小学校（国語） 主として「知識」に関するA問題	
2	小学校（国語） 主として「活用」に関するB問題	
3	小学校（算数） 主として「知識」に関するA問題	
4	小学校（算数） 主として「活用」に関するB問題	
5	小学校（理科）	
6	中学校（国語） 主として「知識」に関するA問題	
7	中学校（国語） 主として「活用」に関するB問題	
8	中学校（数学） 主として「知識」に関するA問題	
9	中学校（数学） 主として「活用」に関するB問題	
10	中学校（理科）	
III	類似問題の経年比較	P25
IV	児童生徒質問紙調査結果	P34
V	学校質問紙調査結果	P36
VI	平均正答率の高い県との比較	P38

宮城県教育委員会

全国学力・学習状況調査結果の概要

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から，全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し，教育施策の成果と課題を検証し，その改善を図る。
- (2) そのような取組を通じて，教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査実施日

平成 2 7 年 4 月 2 1 日 (火)

3 調査対象

- ・ 小学校第 6 学年，特別支援学校小学部第 6 学年の全児童
- ・ 中学校第 3 学年，中等教育学校第 3 学年，特別支援学校中学部第 3 学年の全生徒

4 調査事項及び内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 小学校 6 年生：国語，算数，理科
- ・ 中学校 3 年生：国語，数学，理科

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

- ・ 児童生徒に対する調査
- ・ 学校に対する調査

5 参加状況 (仙台市を含む)

【小学校調査】 公立学校 3 9 3 校 参加児童数 1 9 , 8 4 4 名

【中学校調査】 公立学校 2 0 4 校 参加生徒数 1 9 , 8 5 4 名

6 調査結果の概況

(1) 平成19年度から平成27年度までの教科に関する調査結果一覧

	「知識」に関するA問題				「活用」に関するB問題					
	問題数	全国 平均正答率	宮城県 平均正答率	全国平均 との比較	問題数	全国 平均正答率	宮城県 平均正答率	全国平均 との比較		
小 学 校	国 語	H27	14	70.0	69.6	-0.4	9	65.4	63.9	-1.5
		H26	15	72.9	74.2	+1.3	10	55.5	54.3	-1.2
		H25	18	62.7	60.8	-1.9	10	49.4	47.6	-1.8
		H24	17	81.6 81.4-81.7	81.7 81.2-82.3	+0.1	11	55.6 55.4-55.8	55.9 55.1-56.8	+0.3
		H22	15	83.3 83.2-83.5	83.4 82.7-84.0	+0.1	10	77.8 77.7-78.0	77.7 76.9-78.5	-0.1
		H21	18	69.9	67.4	-2.5	10	50.5	49.8	-0.7
		H20	18	65.4	64.2	-1.2	12	50.5	49.2	-1.3
		H19	18	81.7	80.6	-1.1	10	62.0	61.0	-1.0
	算 数	H27	16	75.2	74.1	-1.1	13	45.0	42.7	-2.3
		H26	17	78.1	77.3	-0.8	13	58.2	56.8	-1.4
		H25	19	77.2	76.3	-0.9	13	58.4	56.5	-1.9
		H24	19	73.3 73.1-73.5	72.7 71.9-73.5	-0.6	13	58.9 58.7-59.1	58.1 57.2-59.1	-0.8
		H22	19	74.2 74.0-74.4	73.8 72.9-74.7	-0.4	12	49.3 49.1-49.5	47.8 46.8-48.7	-1.5
		H21	18	78.7	77.5	-1.2	14	54.8	54.0	-0.8
H20		19	72.2	71.3	-0.9	13	51.6	50.4	-1.2	
理 科	H27	24	60.8	59.6	-1.2	理科はA，Bの区別なし				
	H24	24	60.9 60.8-61.1	62.1 61.4-62.9	+1.2					
中 学 校	国 語	H27	33	75.8	76.1	+0.3	9	65.8	66.2	+0.4
		H26	32	79.4	80.3	+0.9	9	51.0	52.0	+1.0
		H25	32	76.4	77.6	+1.2	9	67.4	68.6	+1.2
		H24	32	75.1 75.0-75.2	76.2 75.6-76.7	+1.1	9	63.3 63.2-63.4	65.5 64.9-66.2	+2.2
		H22	35	75.1 75.0-75.2	76.2 75.6-76.7	+1.1	10	65.3 65.1-65.5	66.7 66.0-67.4	+1.4
		H21	33	77.0	78.1	+1.1	11	74.5	76.4	+1.9
		H20	34	73.6	73.8	+0.2	10	60.8	61.8	+1.0
		H19	37	81.6	80.8	-0.8	10	72.0	71.0	-1.0
	数 学	H27	36	64.4	63.1	-1.3	15	41.6	40.7	-0.9
		H26	36	67.4	65.6	-1.8	15	59.8	59.4	-0.4
		H25	36	63.7	62.2	-1.5	16	41.5	39.7	-1.8
		H24	36	62.1 62.0-62.3	60.8 59.9-61.8	-1.3	15	49.3 49.2-49.5	50.5 49.4-51.6	+1.2
		H22	36	64.6 64.4-64.8	64.4 63.4-65.4	-0.2	14	43.3 43.1-43.5	44.0 42.9-45.1	+0.7
		H21	33	62.7	62.1	-0.6	15	56.9	57.7	+0.8
H20		36	63.1	61.4	-1.7	15	49.2	49.1	-0.1	
理 科	H27	25	53.0	53.7	+0.7	理科はA，Bの区別なし				
	H24	26	51.0 50.9-51.1	52.7 52.0-53.5	+1.7					

平成22年度，24年度の値は，抽出校の平均正答率，下段は抽出校の平均正答率をもとに，悉皆調査を実施した場合の県の平均正答率を想定した値の範囲（95%信頼区間 文部科学省の説明による）。平成23年度は，東日本大震災により中止。

(2) 教科に関する調査の結果

国語については、小学校の「知識」に関するA問題、「活用」に関するB問題が全国平均を下回り、中学校のA問題、B問題については全国平均を上回った。

算数・数学については、数学のA問題で昨年度と比較して全国平均との差が小さくなっているものの、A問題、B問題とも全国平均を下回った。

初めての悉皆調査となった理科については、小学校で全国平均を下回ったものの、中学校では上回った。

(3) 児童生徒質問紙調査の結果

小・中学生ともに、朝食を毎日食することなど、基本的な生活習慣に関する質問については、全国と比べて肯定的な回答をしている項目が多い。

家庭で授業の予習、復習をしている割合は、小・中学生ともに全国値を大きく上回っている。

学校の授業以外で平日に小学生が1時間以上、中学生が2時間以上学習する割合は、小学校が全国値よりも高いものの、中学生は低くなっている。また、土曜日や日曜日の学習時間については、小・中学生ともに全国値よりも低い。

長時間(3時間以上)携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしている割合は、全国値を下回っており改善しつつある。また、テレビ等の視聴時間(3時間以上)やテレビゲーム、コンピュータゲーム等の使用(3時間以上)についても、小・中学生ともに全国値より低く、昨年度よりさらに改善が見られる。

授業のはじめに教師から目標を示すことや授業の最後に学習内容を振り返る活動を行うことについては、小・中学生とも昨年度より改善されてきている。

(4) 学校質問紙調査の結果

将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導に取り組んでいる学校の割合は、小・中学校ともに全国値より高い。

全国学力・学習状況調査の結果を分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行うことについては、県の独自調査を実施したことから、小・中学校ともに全国値より高くなった。

中学校においては、補充的な学習を行っている教科で正答率が高い傾向が見られる。

教科の指導内容や指導方法に関して近隣の小・中学校と連携を行うことについては、小・中学校ともに全国値より低い。

7 今後の対応

昨年度との比較で全国平均をやや下回る教科も増えているが、正答率の向上という形では表れていないものの、児童生徒質問紙や学校質問紙結果ではこれまで課題としていた項目で改善が図られつつある。学力向上に向けて基本となる「5つの提言」を、今後も全ての学校でさらに徹底するよう働き掛けていく。また、文部科学省から提供される詳細なデータを宮城県検証改善委員会等で分析し、検証改善委員会報告書として具体的な対応策を取りまとめ、各学校の授業改善が図られるよう発信するとともに、指導主事学校訪問や学力向上サポートプログラム事業の訪問等で支援していく。

課題である算数・数学の学力向上については、宮城県学力向上対策協議会が取りまとめた学力向上対策「算数・数学ステップ・アップ5」を実践化・自校化できるよう、実践例を募集しホームページ等で紹介したり動画配信等により理解を促したりするなど支援していく。

昨年度から実施している県独自の学力・学習状況調査とこの全国調査を連動させた検証改善サイクルを各学校で構築できるよう、学力調査活用研修会等により支援するなど、今後も市町村教育委員会と連携を図りながら、学力向上に向けた具体的な取組を進めていく。

児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査結果のポイント

児童生徒質問紙調査の結果

1 基本的な生活習慣について

(1) 基本的な生活習慣関連項目(10項目)について

質問事項	小学校	中学校
肯定的な回答が全国値を上回る項目数	8項目	8項目
肯定的な回答が全国値と等しい項目数	0項目	0項目
肯定的な回答が全国値を下回る項目数	2項目	2項目

(2) 基本的な生活習慣の具体的な例(はやね, 早おき, 朝ごはん等, 生活に関する項目)

下段は全国との比較

質問事項	小学校(%)									中学校(%)								
	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19		
1 朝食を毎日食べていますか	96.3	96.8	96.7	96.6	97.4	96.6	96.3	96.2	94.6	94.6	94.7	94.4	94.5	94.0	93.6	93.3		
	+0.7	+0.8	+0.4	+0.5	+1.0	+0.6	+0.9	+1.0	+1.1	+1.1	+0.9	+0.8	+1.2	+1.6	+1.7	+1.7		
2 普段1日にどれくらいの時間テレビやビデオ・DVDを見ますか(3時間以上)	35.6	39.6	41.9	47.8	47.2	51.1	51.7	38.0	27.0	30.3	29.7	33.3	38.1	40.4	43.0	35.9		
	-0.5	+1.6	+3.3	+5.1	+3.9	+5.4	+5.6	+3.7	-3.5	-1.2	0.0	+0.8	+1.6	+2.4	+3.4	+2.8		
3 普段1日当たりどれくらいの時間テレビゲームをしますか(3時間以上)	15.9	17.4	16.1	13.7	12.6	13.0	14.0	9.8	18.6	19.8	14.3	10.5	10.2	10.5	10.4	10.5		
	-1.1	+0.4	+1.2	+1.1	+1.3	+1.4	+2.1	+0.9	-1.9	-0.5	0.0	-0.9	-0.6	+0.1	-0.1	-0.2		

2と3については、数値が高いほど、また、全国との比較の値が大きいほど改善の必要性が高い。

2 家庭での学習習慣について

下段は全国との比較

質問事項	小学校(%)									中学校(%)								
	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19		
4 家で学校の授業の予習をしていますか	50.5	50.2	47.6	45.6	48.6	42.6	39.1	36.6	50.0	46.7	48.3	39.3	43.9	42.1	41.0	39.3		
	+7.1	+7.0	+6.3	+5.1	+8.2	+5.1	+3.7	+3.7	+14.7	+12.5	+14.8	+10.0	+13.0	+12.6	+12.6	+9.8		
5 家で学校の授業の復習をしていますか	67.0	66.1	61.9	59.9	61.2	54.9	50.8	35.8	65.4	63.0	60.8	56.8	54.4	49.7	48.4	45.8		
	+12.5	+12.1	+10.5	+9.7	+11.6	+8.9	+7.4	-4.3	+13.4	+12.6	+12.2	+11.3	+10.9	+9.2	+8.8	+6.6		
6 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(塾や家庭教師含む、小学校:1時間以上、中学校:2時間以上)	64.8	64.1	64.8	61.2	61.5	56.9	52.9	53.8	29.7	29.6	30.7	30.0	28.5	29.1	29.8	27.4		
	+2.1	+2.1	+1.6	+1.7	+3.3	-0.3	-3.2	-4.0	-6.1	-5.5	-5.8	-5.3	-7.2	-6.6	-5.9	-8.0		
7 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(塾や家庭教師含む、小学校:2時間以上、中学校:3時間以上)	21.2	22.0	20.9	19.5	20.5	17.9	16.3	15.4	16.6	15.6	15.5	15.0	12.9	13.5	13.6	11.8		
	-3.3	-2.0	-4.3	-4.3	-3.0	-4.9	-6.4	-7.6	-1.1	-1.3	-1.7	-1.2	-2.9	-1.9	-1.5	-3.1		

3 学習に関する関心・意欲・態度

下段は全国との比較

質問事項	小学校(%)									中学校(%)								
	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19		
8 授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	84.1	77.5	78.1						78.3	67.7	65.0							
	-2.2	-4.5	-4.4						-1.4	-3.8	-3.1							
9 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	73.6	68.0	73.3						60.2	53.0	52.9							
	-1.7	-3.9	-3.4						+0.9	-0.3	+1.6							
10 国語の授業の内容はよくわかりますか	80.9	78.8	78.4	83.7	82.3	80.1	77.6	78.7	75.8	74.5	74.3	74.7	71.5	70.1	69.6	67.5		
	-1.1	-1.3	-1.5	+0.6	+0.0	+0.1	-0.4	+0.7	+1.5	+2.5	+2.4	+3.5	+1.6	+1.3	+2.8	+2.1		
11 算数・数学の授業の内容はよくわかりますか	80.9	78.2	78.6	79.5	78.0	80.2	79.2	77.9	71.2	71.4	70.5	64.1	64.8	62.4	64.5	61.5		
	-0.1	-1.4	-1.6	+0.4	+0.8	+1.0	+0.8	+0.8	-0.4	-0.1	+0.0	-0.8	-0.9	-2.5	-1.0	-2.1		
12 理科の授業の内容はよくわかりますか	87.1			86.2					69.3			66.5						
	-0.8			+0.2					+2.5			+2.4						

学校質問紙調査の結果

下段は全国との比較

質問事項	小学校(%)									中学校(%)								
	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19		
1 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしたか	84.0	86.6	78.6	77.6	72.3	68.1	62.1		96.6	96.0	99.0	97.3	94.1	96.8	95.9			
	+11.6	+14.6	+7.1	+6.3	+1.7	-1.4	-4.1		+0.2	+1.8	+4.5	+2.0	-2.1	+0.9	+0.0			
2 全国調査の結果を分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行ったか	95.9	81.2							94.1	80.2								
	+4.0	-7.7							+6.2	-4.3								
3 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れているか	98.7	95.2	96.1						97.5	94.1	95.4							
	+0.6	-1.7	-0.4						+1.8	+0.1	+2.8							
4 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れているか	91.8	91.6	91.4						91.2	91.6	90.9							
	-2.1	0	-0.6						+0.3	+2.4	+2.8							
5 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行ったか	94.4	93.2	89.1	94.0	91.6	88.3	90.1	82.2	96.5	96.5	96.0	94.9	94.2	95.0	89.5	85.8		
	+2.5	+2.6	-0.8	+4.2	+2.2	-0.8	+2.7	-1.2	+2.0	+2.9	+3.8	+3.3	+3.1	+4.1	-0.3	-1.9		
6 国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行ったか	85.3	82.5	86	89.5	85.4	85.5	87.4	82.6	83.3	84.7	78.3	84.6	84.9	85.9	81.4	84.4		
	+0.7	-0.7	+2.3	+6.6	+2.4	+2.2	+4.5	+2.3	-3.4	-1.4	-5.9	+0.7	+0.2	+3.2	-1.7	+2.3		
7 国語の指導として、補充的な学習の指導を行ったか	70.8	71.9	67.0	66.6	68.1	73.2	72.7	68.9	83.4	78.3	72.3	82.0	77.2	81.3	78.7	73.7		
	-3.0	+1.0	-0.8	-1.2	-1.5	+4.3	+1.0	+3.9	+5.2	+3.4	-1.1	+7.3	+2.6	+7.2	+4.2	+3.6		
8 国語の指導として、発展的な学習の指導を行ったか	41.2	38.5	33.2	35.6	41.8	38.3	36.5	33.0	59.8	54.4	54.1	59.4	57.7	55.9	55.5	53.8		
	-3.4	-2.2	-4.4	-3.2	+2.7	-0.9	-1.2	-0.4	-1.0	-1.6	+0.4	+5.3	+5.3	+5.0	+6.9	+7.3		
9 算数・数学の指導として、補充的な学習の指導を行ったか	92.6	89.8	87.4	91.9	89.6	88.5	93.1	88.8	87.3	88.1	88.9	87.3	89.0	88.2	91.8	91.2		
	+0.8	+0.3	+0.1	+3.6	+1.8	+1.8	+3.1	+1.0	-1.8	+0.5	+2.9	+0.3	+2.4	+2.1	+3.0	+4.5		
10 算数・数学の指導として、発展的な学習の指導を行ったか	61.6	54.4	54.7	55.0	58.4	55.4	59.2	56.4	61.2	59.4	52.5	53.9	52.6	60.0	55.9	55.1		
	0	-3.9	+0.3	+1.1	+4.5	+0.9	+1.4	-1.9	-4.2	-1.9	-5.8	-4.6	-4.1	+4.5	-3.2	-4.6		
11 理科の指導として、補充的な学習の指導を行ったか	50.4			43.7					84.3			77.6						
	-5.4			-6.9					+5.5			+1.5						
12 理科の指導として、発展的な学習の指導を行ったか	41.0			33.4					59.3			60.2						
	-6.2			-8.8					-3.2			+3.3						
13 教科の指導内容や指導方法について近隣の小・中学校と連携を行ったか	55.7	49.3	53.7	69.4					58.3	63.9	51.5	59.8						
	-11.0	-13.1	-15.5	-8.7					-17.2	-8.2	-18.0	-18.4						

注) 示している数値は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合

各教科の調査の結果

1 小学校国語A問題

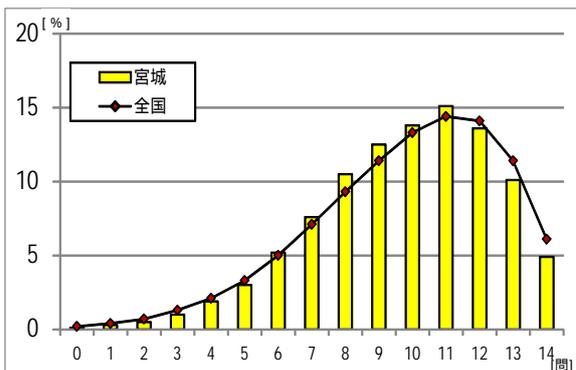
(1) 結果の概要

平均正答率は69.6%であり、全国平均を0.4ポイント下回る結果となっている。
 「書くこと」の領域において全国平均を1.1ポイント上回り、改善が図られている。
 「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域において全国平均を下回り、課題が見られる。

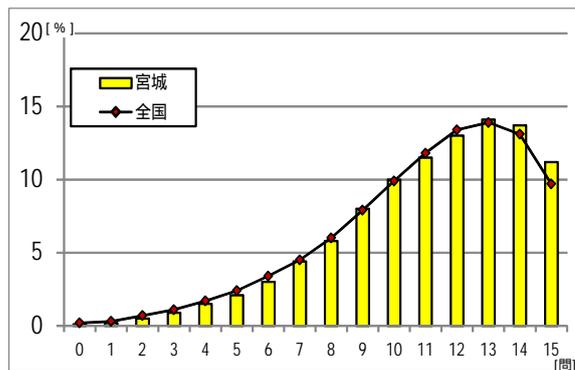
(2) 正答数分布状況

全国と比較して、12問（85%程度）以上正答している児童の割合が全国と比べて低く、正答数が7～11問（50～80%程度）の児童の割合が全国より高くなっており、全体的な底上げが課題である。

【平成27年度正答数度数分布グラフ】



【平成26年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

「書くこと」の領域において全国平均を1.1ポイント上回っている。
 「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域において全国平均を下回っている。

年度	話すこと・聞くこと			書くこと			読むこと			伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			合計		
	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)
H27	49.2	53.0	-3.8	87.1	86.0	1.1	53.3	55.2	-1.9	77.5	77.2	0.3	69.6	70.0	-0.4
H26	69.5	72.4	-2.9	70.2	72.2	-2.0	68.5	68.5	0.0	75.5	73.7	1.8	74.2	72.9	1.3
H25	45.4	43.3	2.2	50.1	53.0	-2.9	60.7	60.1	0.6	60.8	62.6	-1.8	60.8	62.7	-1.9
H24	79.8	79.4	0.4	55.0	57.5	-2.5	82.5	82.1	0.4	86.8	86.3	0.5	81.7	81.6	0.1
H22	82.7	83.2	-0.5	66.0	67.7	-1.7	73.6	74.1	-0.5	86.0	86.8	0.2	83.4	83.3	0.1
H21	65.2	68.0	-2.8	84.9	85.4	-0.5	67.2	68.7	-1.5	60.9	64.2	-3.3	67.4	69.9	-2.5
H20	76.4	76.1	0.3	50.7	53.3	-2.6	44.1	44.5	-0.4	64.0	65.2	-1.2	64.2	65.4	-1.2
H19	54.5	56.6	-2.1	83.3	85.3	-2.0	67.0	67.3	-0.3	86.0	86.8	-0.8	80.6	81.7	-1.1

(4) 設問別調査結果

全国とのかい離が大きい(±4ポイント以上)設問等

(: かい離がプラス かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

【話すこと・聞くこと】

なし

【書くこと】

なし

【読むこと】

なし

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

漢字を読む(全員がすぐに承知した)問題の平均正答率は96.9%で、全国平均を4.4ポイント上回っている。[1-3]

漢字を書く(びょういんに行く)問題の平均正答率は80.1%で、全国平均を5.2ポイント上回っている。[1 2 3]

文の主語として適切なものを選択する問題の平均正答率は48.0%で、全国平均を5.1ポイント下回っている。[2-]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		正答率の かい離	無解答率の かい離
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	選択式	短答式	記述式	宮城県(公立)	全国(公立)	宮城県(公立)	全国(公立)		
1-1	漢字を読む (友人を家に招く)				5-6 (1)ウ (ア)				98.3	97.5	0.4	0.7	0.8	-0.3
1-2	漢字を読む (自分の信念をつらぬく)				5-6 (1)ウ (ア)				95.3	96.0	1.0	0.9	-0.7	0.1
1-3	漢字を読む (全員がすぐに承知した)				5-6 (1)ウ (ア)				96.9	92.5	1.1	2.5	4.4	-1.4
1ニ1	漢字を書く (シャワーをあびる)				5-6 (1)ウ (ア)				58.3	58.4	20.9	17.2	-0.1	3.7
1ニ2	漢字を書く (鳥の足を観察する)				5-6 (1)ウ (ア)				79.4	76.5	4.9	5.7	2.9	-0.8
1ニ3	漢字を書く (びょういんに行く)				5-6 (1)ウ (ア)				80.1	74.9	3.9	4.7	5.2	-0.8
2-	文の主語として適切なものを選択する				1-2 (1)イ (カ)				48.0	53.1	0.7	0.6	-5.1	0.1
2ニ	文の型として適切なものを選択する				3-4 (1)イ (キ)				68.2	71.7	0.5	0.5	-3.5	0.0
3	聞き方の説明として適切なものを選択する	5-6 エ							49.2	53.0	0.5	0.5	-3.8	0.0
4	説明の文章の書き方の工夫として適切なものを選択する		3-4 ウ						87.1	86.0	0.2	0.3	1.1	-0.1
5-	コラムの中で筆者の読書体験が書いてあるまとまりを選択する			5-6 ウ					56.7	59.5	1.4	1.6	-2.8	-0.2
5ニ	コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く			5-6 ウ					16.7	19.8	8.3	7.7	-3.1	0.6
6	登場人物の関係についての説明として適切なものを選択する			5-6 エ					66.7	67.5	1.8	2.6	-0.8	-0.8
7	応募のきまりを守っていないものを選択する			5-6 イ	3-4 (1)イ (オ)				72.9	73.9	3.3	4.3	-1.0	-1.0

2 小学校国語B問題

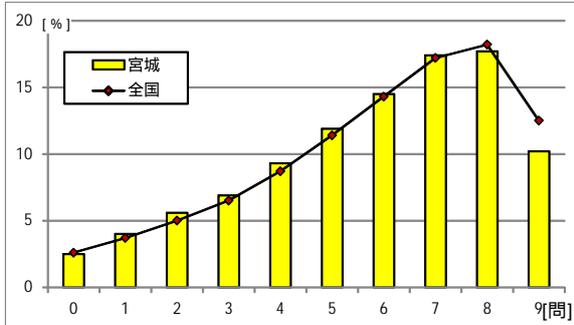
(1) 結果の概要

平均正答率は63.9%で、全国平均を1.5ポイント下回っており、全国平均とのかい離は平成26年度より0.3ポイント大きくなっている。
 「書くこと」「読むこと」の領域において全国平均を下回り、課題が見られる。

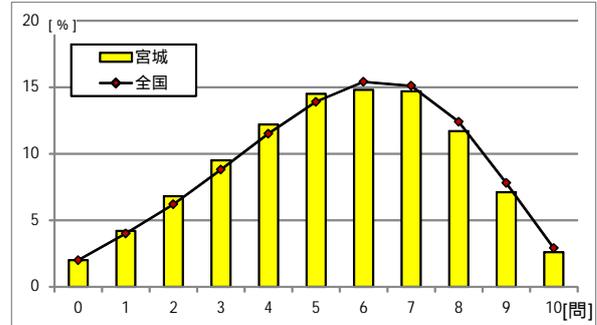
(2) 正答数分布状況

全国と比較して、8問(90%程度)以上正答している児童の割合が低い状況が見られ、全体的な底上げが課題である。

【平成27年度正答数度数分布グラフ】



【平成26年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

「書くこと」「読むこと」の領域の平均正答率が、全国平均を下回っている。

「書くこと」の領域の平均正答率の差は-1.4ポイントであり、全国平均とのかい離が平成26年度と比較して小さくなっている。

年度	話すこと・聞くこと			書くこと			読むこと			伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			合計		
	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)
H27				59.7	61.1	-1.4	66.3	68.1	-1.8				63.9	65.4	-1.5
H26	50.9	51.2	-0.3	32.5	34.4	-1.9	55.7	57.3	-1.6	68.6	69.8	-1.2	54.3	55.5	-1.2
H25	63.1	64.8	-1.7	41.7	43.8	-2.1	46.1	47.9	-1.8	63.7	63.8	-0.1	47.6	49.4	-1.8
H24	62.6	63.0	-0.4	47.0	46.8	0.2	5.6	55.7	-0.1	54.7	55.2	-0.5	55.9	55.6	0.3
H22	75.0	75.4	-0.4	92.2	91.6	0.6	73.1	73.4	-0.3	72.3	73.0	-0.7	77.7	77.8	-0.1
H21	61.1	61.3	-0.2	12.7	14.5	-1.8	55.6	56.5	-0.9	58.5	59.7	-1.2	49.8	50.5	-0.7
H20	72.7	73.0	-0.3	48.0	49.1	-1.1	46.6	48.3	-1.7				49.2	50.5	-1.3
H19	67.6	70.9	-3.3	60.5	61.7	-1.2	56.5	57.7	-1.2	79.4	77.0	2.4	61.0	62.0	-1.0

(4) 設問別調査結果

全国とのかい離が大きい(±4ポイント以上)設問等

(: かい離がプラス かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

【話すこと・聞くこと】設問なし

【書くこと】

「中田とよさんへのインタビューの様子」の内容をまとめて書く問題の正答率は30.5%で、全国平均を4.2ポイント下回っている。[13]

【読むこと】

なし

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】設問なし

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		正答率の かい離	無解答率の かい離
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	選択式	短答式	記述式	宮城県(公立)	全国(公立)	宮城県(公立)	全国(公立)		
1ー	新聞の割り付けとして適切なものを選択する		5・6 イ					75.0	74.6	0.4	0.5	0.4	-0.1	
1二	見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する		5・6 ウ					71.4	70.8	0.5	0.6	0.6	-0.1	
1三	【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く		5・6 ウ					30.5	34.7	4.3	4.0	-4.2	0.3	
2ーア	【ア】に入る言葉の意味として適切な内容を書き抜く			3・4 イ				73.4	75.5	4.0	3.6	-2.1	0.4	
2ーイ	【イ】に入る言葉として適切な内容を書き抜く			3・4 イ				84.7	86.0	6.5	5.6	-1.3	0.9	
2二	【文章】の要旨をまとめて書く		5・6 ウ	5・6 ウ				75.6	78.4	8.1	7.0	-2.8	1.1	
2三	楽器の分担の決め方について、【楽器の分担図】を基にして書く		5・6 エ	5・6 ウ				38.6	41.6	8.3	8.7	-3.0	-0.4	
3ー	絵3の場面が始まるままとりとして適切なものを選択する			3・4 ウ				58.6	60.4	8.6	9.7	-1.8	-1.1	
3二	声に出して読むときの工夫とその理由を書く		5・6 ウ	3・4 ア				67.1	66.6	13.8	15.1	0.5	-1.3	

児童質問紙

質	問	事	項	宮城県	全国	かい離
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	1	全て書く問題で最後まで解答を書こうと努力した		76.8	77.7	-0.9
	2	書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた		20.9	19.7	1.2
	3	書く問題は全く解答しなかった		1.8	1.9	-0.1
調査問題の解答時間は十分でしたか。(国語A)	1	時間が余つた		46.7	49.2	-2.5
	2	ちょうどよかった		37.2	34.1	3.1
	3	やや足りなかつた		13.4	13.5	-0.1
	4	全く足りなかつた		2.5	2.6	-0.1
調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	1	時間が余つた		33.5	34.7	-1.2
	2	ちょうどよかった		33.8	32.9	0.9
	3	やや足りなかつた		26.2	25.3	0.9
	4	全く足りなかつた		6.2	6.6	-0.4

3 小学校算数A問題

(1) 結果の概要

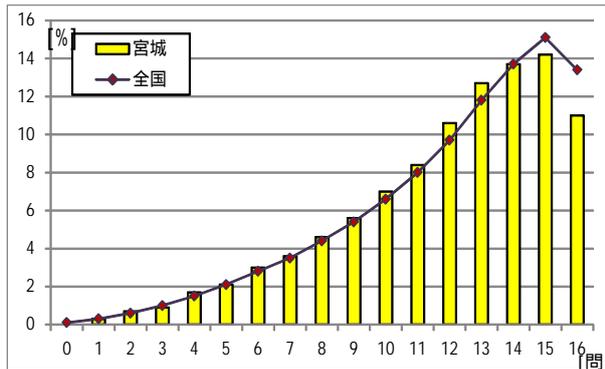
平均正答率は74.1%で、全国平均を1.1ポイント下回っており、全国平均とのかい離は平成26年度より0.3ポイント大きくなっている。

平均正答率で全国平均を上回った問題は16問中4問であり、全ての領域で全国平均を下回った。特に、「図形」の領域のかい離が大きく課題が見られる。

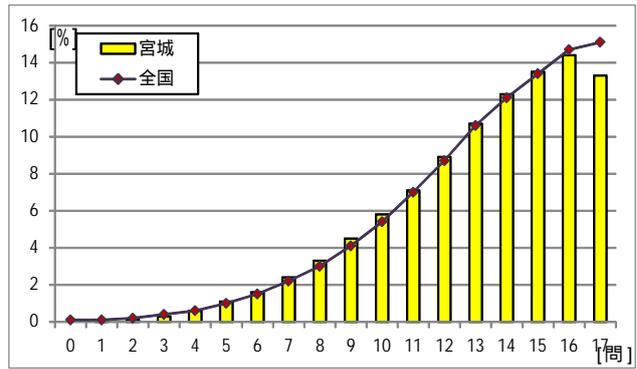
(2) 正答数分布状況

正答数の分布は全国と同様の傾向が見られるが、全国之最頻値より左側の分布がやや厚い。全国と比較して、15問(90%程度)以上正答している児童の割合が低い。

【平成27年度正答数度数分布グラフ】



【平成26年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

4領域全てで、平均正答率が全国平均を下回っている。

全国平均とのかい離は、「図形」「数量関係」の領域で平成26年度よりやや小さくなり、「数と計算」「量と測定」の領域ではやや大きくなっている。

年度	数と計算			量と測定			図形			数量関係			合計		
	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)												
H27	79.6	80.1	-0.5	70.4	71.3	-0.9	62.4	64.5	-2.1	84.1	84.9	-0.8	74.1	75.2	-1.1
H26	81.7	81.8	-0.1	74.7	74.8	-0.1	69.5	71.8	-2.3	79.6	81.3	-1.7	77.3	78.1	-0.8
H25	80.0	80.2	-0.2	66.7	68.3	-1.6	70.9	72.5	-1.6	82.7	83.4	-0.7	76.3	77.2	-0.9
H24	74.6	75.0	-0.4	71.0	71.7	-0.7	73.0	72.6	+0.4	71.9	74.4	-2.5	72.7	73.3	-0.6
H22	75.0	74.1	+0.9	72.0	74.1	-2.1	83.7	83.1	+0.6	63.4	65.7	-2.3	73.8	74.2	-0.4
H21	81.2	82.8	-1.6	77.4	78.5	-1.1	81.1	81.3	-0.2	63.0	64.2	-1.2	77.5	78.7	-1.2
H20	76.2	76.8	-0.6	56.1	56.2	-0.1	71.6	72.7	-1.1	69.8	72.4	-2.6	71.3	72.2	-0.9
H19	79.6	81.5	-1.9	85.1	86.1	-1.0	86.3	86.1	+0.2	74.0	75.4	-1.4	81.1	82.1	-1.0

(4) 設問別調査結果

全国とのかい離が大きい(±4ポイント以上)設問等

(: かい離がプラス かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

【数と計算】

なし

【量と測定】

なし

【図形】

なし

【数量関係】

なし

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		正答率の かい離	無解答率の かい離
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	選択式	短答式	記述式	宮城県(公立)	全国(公立)	宮城県(公立)	全国(公立)		
1(1)	8.9 - 0.78の差の概算の結果として、ふさわしい数値を選ぶ	4A (2) アウ							70.9	71.0	0.7	0.6	-0.1	0.1
1(2)	5.21 + 0.7は0.01が何個集まった数かを表すための式として、ふさわしい数値の組み合わせを書く	4A (2)ア 4A (5) アイ							74.7	74.3	1.0	1.1	0.4	-0.1
1(3)	小数の加法の結果を、減法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く	2A (2)ウ 3A (2)ウ 4A (5)イ							82.8	82.0	2.2	2.0	0.8	0.2
2(1)	28 + 72を計算する	2A (2)ア							98.2	98.2	0.1	0.2	0.0	-0.1
2(2)	6.79 - 0.8を計算する	4A (5)イ							70.1	69.5	0.7	0.7	0.6	0.0
2(3)	5/9 - 1/4を計算する	5A (4)オ							79.0	81.4	2.1	1.8	-2.4	0.3
2(4)	5/6 ÷ 7を計算する	5A (4)カ							81.7	84.2	5.7	4.1	-2.5	1.6
3	午後3時10分までに図書館に着くために、所要時間の5分と20分を基に、家を出発する時刻を求める		3B (3)イ						71.4	74.8	1.1	1.0	-3.4	0.1
4(1)	90°, 180°, 270°, 360°を基準として角の大きさを見当付けたものから、正しいものを選ぶ		4B (2) アイ						83.8	81.3	0.3	0.3	2.5	0.0
4(2)	分度器の目盛りを読み、180°より大きい角の大きさを求める		4B (2) アイ						56.0	58.0	0.4	0.5	-2.0	-0.1
5(1)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形が二等辺三角形になる理由として、最もふさわしい円の特徴を選ぶ			3C (1) アウ					48.8	50.6	1.7	1.6	-1.8	0.1
5(2)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の、角の大きさを求める			3C (1)ア イウ 5C (1)ウ					60.9	64.5	2.5	2.4	-3.6	0.1
6(1)	作成途中の直方体の展開図について、残りの一つの面の長方形の縦と横の辺の長さを書く			2C (1)ウ 4C (2)ア 5C (1)イ					74.1	75.4	2.0	2.1	-1.3	-0.1
6(2)	作成途中の直方体の展開図について、残りの一つの面を付けてかく辺を選ぶ			2C (1)ウ 4C (2)ア					65.7	67.6	3.5	3.4	-1.9	0.1
7	ハンカチを5日間持ってきた人数が、学年全体の人数の半分より少ない学年は、4年生だけであることを示しているグラフを選ぶ			3D (3)ア 5D (4)					80.8	81.8	2.0	2.3	-1.0	-0.3
8	を並べた図を基に式を読み、数に対応する を黒く塗る			3D (2)ア 4D (2)ア					87.4	88.1	4.2	4.6	-0.7	-0.4

4 小学校算数B問題

(1) 結果の概要

平均正答率は42.7%であり、全国平均を2.3ポイント下回っている。全国平均とのかい離は平成26年度より0.9ポイント大きくなっている。

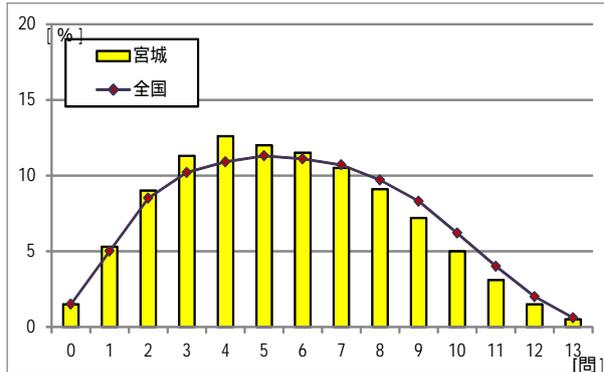
平均正答率で全国平均を上回ったのは13問中2問で、知識・理解を問う問題だった。

(2) 正答数分布状況

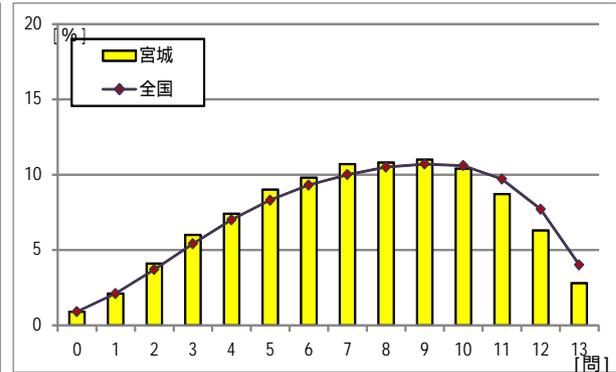
正答数の分布は全国と同様の傾向が見られるが、全国之最頻値より左側の分布がやや厚い。

全国と比較して、正答数が3～6問(20%～45%程度)の児童が多く、8問(60%程度)以上正答している児童が少ない。

【平成27年度正答数度数分布グラフ】



【平成26年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

どの領域においても平均正答率を下回っている。

全国平均とのかい離は、平成26年度に比べ4領域全てでやや大きくなっている。

年度	数と計算			量と測定			図形			数量関係			合計		
	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)												
H27	39.4	42.4	-3.0	40.2	41.7	-1.5	43.8	45.6	-1.8	39.9	43.0	-3.1	42.7	45.0	-2.3
H26	59.7	61.3	-1.6	55.5	56.5	-1.0	65.8	65.7	+0.1	54.4	56.2	-1.8	56.8	58.2	-1.4
H25	46.7	48.3	-1.6	54.0	56.0	-2.0	78.2	79.3	-1.1	52.9	54.9	-2.0	56.5	58.4	-1.9
H24	52.5	54.0	-1.5	60.2	60.8	-0.6	63.2	63.3	-0.1	48.1	49.5	-1.4	58.1	58.9	-0.8
H22	54.8	55.8	-1.0	30.6	33.3	-2.7	40.3	42.0	-1.7	52.8	54.3	-1.5	47.8	49.3	-1.5
H21	55.0	55.8	-0.8	58.7	59.9	-1.2	54.6	56.4	-1.8	57.1	56.8	+0.3	54.0	54.8	-0.8
H20	64.3	65.2	-0.9	51.9	53.3	-1.4	59.9	61.2	-1.3	43.8	44.9	-1.1	50.4	51.6	-1.2
H19	55.0	58.9	-3.9	55.7	58.0	-2.3	71.0	72.5	-1.5	63.9	65.5	-1.9	61.4	63.6	-2.2

(4) 設問別調査結果

全国とのかい離が大きい(±4ポイント以上)設問等

(: かい離がプラス かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

【数と計算・図形】

正三角形の性質を基に、示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求める問題の正答率は28.2%で全国平均を4.3ポイント下回っている。[3(1)]

【量と測定】

なし

【図形】

正三角形の性質や合同な三角形の性質を基に、 $\textcircled{ア}$ の角が 30° になる理由を記述する問題の正答率は43.7%で、全国平均を5.4ポイント下回っている。

[3(2)]

【数量関係】

なし

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		正答率の かい離	無解答率の かい離
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	選択式	短答式	記述式	宮城県(公立)	全国(公立)	宮城県(公立)	全国(公立)		
1(1)	平行四辺形を構成することができる、四つの辺の組み合わせを選ぶ			4C (1)イ				95.3	95.2	0.1	0.1	0.1	0.0	
1(2)	作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ			4C (1)アイ				55.6	54.6	1.0	1.0	1.0	0.0	
1(3)	二組の道のりが、それぞれ等しくなることを書く			4C (1)アイ				26.2	27.7	16.0	14.3	-1.5	1.7	
2(1)	トマトを7個買うとき、最も安くなる買い方を選び、そのときの代金を書く		5B (4)ア		4D (2)ア			62.9	64.8	0.2	0.3	-1.9	-0.1	
2(2)	20%増量した商品の内容量が480mLであるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く				5D (3)			9.6	13.1	5.0	4.5	-3.5	0.5	
2(3)	示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを見だし、正しい求め方と答えを書く				5D (3)			47.4	51.0	15.6	12.8	-3.6	2.8	
3(1)	周の長さが2.4mの正三角形を巻き尺でつくるために、それぞれこの目盛りのところを持ってよいかを書く	3A (4)ア 5A (1)イ		3C (1)ア				28.2	32.5	8.1	6.7	-4.3	1.4	
3(2)	合同な二つの三角形を巻き尺でつくったときに、の角が30°になるわけを書く			3C (1)アイ 5C (1)イウ				43.7	49.1	22.0	18.9	-5.4	3.1	
4(1)	四つの数を四捨五入して、千の位までのおよその数に表し、それらの数の和を求める式と答えを書く	4A (2)アイ						50.1	52.6	2.1	2.4	-2.5	-0.3	
4(2)	切り上げて計算した結果が10000であることを分かることを選ぶ	4A (2)アウ						60.1	62.0	3.0	3.9	-1.9	-0.9	
4(3)	目標に達するには、12月に3000個のキャップを集めればよいわけを書く	4A (2)アイウ						19.0	22.3	16.4	15.3	-3.3	1.1	
5(1)	示された図において、分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く		4B (1)アイ 5B (1)ア	2C (1)イ 4C (1)イ 5C (1)イ				12.2	12.5	22.1	21.0	-0.3	1.1	
5(2)	示された図形の色がついた部分の面積を求める		4B (1)アイ 5B (1)ア	2C (1)イ 4C (1)イ 5C (1)イ				45.4	47.8	17.3	17.3	-2.4	0.0	

児童質問紙

質 問 事 項	宮城県	全国	かい離	
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答しましたか	1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	72.7	73.3	-0.6
	2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった	25.1	24.0	1.1
	3 書く問題は全く解答しなかった	1.6	1.9	-0.3
調査問題の解答時間は十分でしたか (算数A)	1 時間が余った	50.1	51.9	-1.8
	2 ちょうどよかった	34.6	32.7	1.9
	3 やや足りなかった	12.0	11.8	0.2
	4 全く足りなかった	3.1	3.0	0.1
調査問題の解答時間は十分でしたか (算数B)	1 時間が余った	33.2	34.8	-1.6
	2 ちょうどよかった	29.4	28.9	0.5
	3 やや足りなかった	29.0	27.5	1.5
	4 全く足りなかった	8.1	8.3	-0.2

5 小学校理科

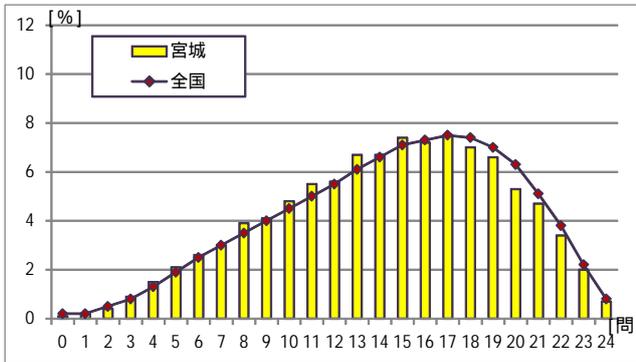
(1) 結果の概要

平均正答率は59.6%で、全国平均を1.2ポイント下回っている。全国平均とのかい離は平成24年度より2.4ポイント大きくなっている。
全ての領域で、全国平均を下回っている。

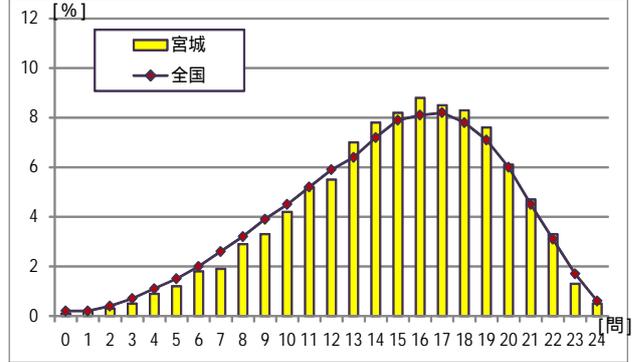
(2) 正答数分布状況

正答数の分布は全国と同様の傾向が見られるが、全国之最頻値より左側の分布がやや厚い。
全国と比較して、18問(75%)以上正答している児童の割合が低く、8問～15問(33～63%程度)正答している児童の割合が高くなっている。

【平成27年度正答数度数分布グラフ】



【平成24年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

全ての領域の平均正答率が、全国平均を下回っている。
主として「知識」に関する問題の正答率が0.8ポイント、主として「活用」に関する問題の正答率が1.5ポイント全国平均を下回っている。
「物質」「エネルギー」のA区分の平均正答率の差がそれぞれ1.9ポイント、全国平均を下回っている。

年度	主として「知識」に関する問題			主として「活用」に関する問題			合計		
	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)
H27	60.5	61.3	-0.8	59.0	60.5	-1.5	59.6	60.8	-1.2
H24	71.5	69.1	+2.4	58.3	57.6	+0.7	62.1	60.9	+1.2

年度	物質			エネルギー			生命			地球			合計		
	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)												
H27	55.5	57.4	-1.9	63.7	65.6	-1.9	60.0	61.2	-1.2	57.5	57.8	-0.3	59.6	60.8	-1.2
H24	63.2	61.4	+1.8	60.4	61.4	+1.8	69.8	68.6	+1.2	51.4	50.6	+0.8	62.1	60.9	+1.2

(4) 設問別調査結果

全国とのかい離が大きい(±4.0ポイント以上)設問等
(: かい離がプラス かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

【物質】

水の温まり方について、実験結果から考え直した内容を選ぶ問題の正答率は47.6%であり、全国平均を4.1ポイント下回っている。[3(3)]

【エネルギー】

なし

【生命】

メダカのみすとおすを見分けるための観察する部分を選ぶ問題の正答率は68.7%であり、全国平均を9.3ポイント下回っている。[2(1)]

【地球】

なし

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	枠組み		学習指導要領の区分等				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		正答率の かい離	無回答の かい離
		主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	A区分		B区分		選択式	短答式	記述式	宮城県(公立)	全国(公立)	宮城県(公立)	全国(公立)		
				物質	エネルギー	生命	地球									
1(1)	振り子が1往復する時間を変える要因を調べ るため適切に条件を変えた振り子を選ぶ				5A (2)ア						76.0	77.6	0.1	0.2	-1.6	-0.1
1(2)	振り子時計の進み方を調整する内容を選ぶ				5A (2)ア						58.6	61.2	0.5	0.7	-2.6	-0.2
1(3)	振り子時計の軸に用いる適切な金属を選び、 選んだわけを書く			4A (2)ア	5A (2)ア						60.3	62.8	1.1	1.1	-2.5	0.0
1(4)	電磁石と磁石が遠く合うようにするための極の 組み合わせを選ぶ				3A(4)イ 5A(2)ア (3)ア						52.7	53.2	1.0	1.3	-0.5	-0.3
1(5)ア	電磁石の働きを利用した振り子が左右に等しく 振れる導線の巻き方や乾電池のつなぎ方につ いて、当てはまるものを選ぶ				4A(3)ア 5A(3)イ						71.4	72.7	0.7	0.9	-1.3	-0.2
1(5)イ					4A(3)ア 5A(3)イ						63.4	66.2	0.8	1.0	-2.8	-0.2
2(1)	メダカのみずとおすを見分けるための観察す る部分を選ぶ					5B (2)ア					68.7	78.0	0.2	0.3	-9.3	-0.1
2(2)よし子	生物の成長に必要な養分のとり方について、 仲間分けした観点を選ぶ					5B(1)ア (2)アイウ					75.9	76.3	0.6	0.6	-0.4	0.0
2(2)ひろし						5B(1)ア (2)アイウ					69.5	69.0	0.7	0.8	0.5	-0.1
2(3)	示された器具(顕微鏡)の名称を書く					5B (2)イ					63.5	61.6	15.9	16.1	1.9	-0.2
2(4)	顕微鏡の適切な操作方法を選ぶ					5B (2)イ					39.3	37.9	0.7	1.0	1.4	-0.3
2(5)	インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の 当たり方から、適した栽培場所を選び、選 んだわけを書く					5B (1)ウ	3B (3)ア				43.0	44.2	3.2	2.8	-1.2	0.4
3(1)	水蒸気の状態の説明として当てはまるものを 選ぶ			4A (2)ウ							82.8	81.9	0.4	0.5	0.9	-0.1
3(2)	水の温まり方の予想を基に、温度計が示す温 度が高くなる順番を選ぶ			4A (2)イ							50.7	54.0	0.6	0.7	-3.3	-0.1
3(3)	水の温まり方について、実験結果から考え直 した内容を選ぶ			4A (2)イ							47.6	51.7	1.0	1.1	-4.1	-0.1
3(4)	示された器具(メスシリンダー)の名称を書 く				5A (1)イ						68.8	70.7	11.7	10.7	-1.9	1.0
3(5)	メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適 切な扱い方を選ぶ				5A (1)イ						50.8	51.7	2.4	2.9	-0.9	-0.5
3(6)	水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係のグ ラフから、水の温度が下がったときに出てく る砂糖の量を選び、選んだわけを書く				5A (1)イ						27.3	28.9	6.4	5.7	-1.6	0.7
4(1)	方位についての情報から、観察している方位 を選ぶ						4B (4)アウ				40.4	41.0	1.8	2.0	-0.6	-0.2
4(2)	夕方にみられる月の形と場所を選ぶ						4B (4)ア				56.4	56.1	1.8	2.0	0.3	-0.2
4(3)	星座の動きを捉えるために必要な記載事項を 選ぶ						4B (4)ウ				54.9	55.3	1.8	2.2	-0.4	-0.4
4(4)	観察した星座や雲の動きを選ぶ						4B (4)ウ				64.6	65.0	2.6	3.0	-0.4	-0.4
4(5)	水が水蒸気になる現象について、その名称を 書く						4B (3)イ				59.1	58.5	15.9	15.2	0.6	0.7
4(6)	地面に水をまいたときの地面の様子と温度変 化について、実験結果から言えることを選ぶ						4B (3)イ				84.2	84.2	3.6	4.2	0.0	-0.6

児童質問紙

質	問	事	項	宮城県	全国	かい離
今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題 がありました。それらの問題について、どのように解答し ましたか	1	全て書く問題で最後まで解答を書くことと努力した。		75.3	76.1	-0.8
	2	書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった。		21.8	20.7	1.1
	3	書く問題は全く解答しなかった。		1.6	1.8	-0.2
調査問題の解答は十分でしたか	1	時間が余った。		49.2	50.3	-1.1
	2	ちょうどよかった。		30.6	29.3	1.3
	3	やや足りなかった。		16.4	16.3	0.1
	4	全く足りなかった。		3.3	3.5	-0.2

6 中学校国語A問題

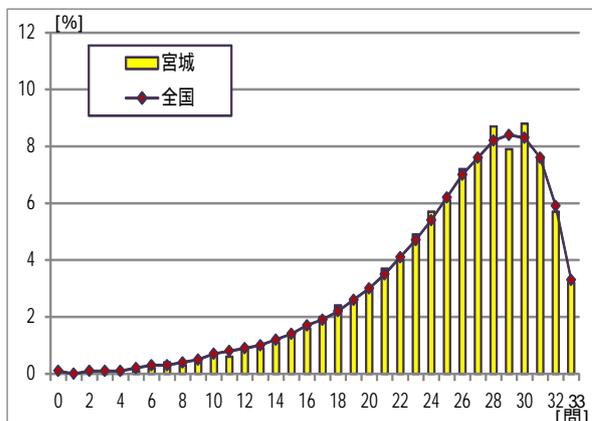
(1) 結果の概要

平均正答率は76.1%であり、全国平均を0.3ポイント上回る結果となっている。
 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の全ての領域において全国平均を上回り、基礎的・基本的な内容に関する知識・技能について、バランスよく定着が図られている。

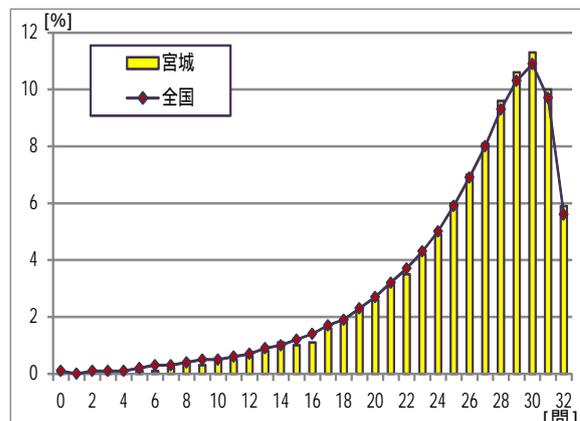
(2) 正答数分布状況

正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。

【平成27年度正答数度数分布グラフ】



【平成26年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

全ての領域において全国平均を上回っている。

年度	話すこと・聞くこと			書くこと			読むこと			伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			合計		
	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)
H27	80.2	79.7	0.5	74.3	73.6	0.7	86.7	86.1	0.6	73.0	72.9	0.1	76.1	75.8	0.3
H26	74.1	72.3	1.8	84.4	83.4	1.0	83.8	82.9	0.9	79.3	78.7	0.6	80.3	79.4	0.9
H25	78.6	77.6	1.0	66.1	64.5	1.6	81.6	80.0	1.6	78.6	77.5	1.1	77.6	76.4	1.2
H24	89.4	87.7	1.7	89.0	88.1	0.9	66.7	65.4	1.3	74.7	73.7	1.0	76.2	75.1	1.1
H22	75.6	74.2	1.4	71.6	71.1	0.5	77.9	76.6	1.3	76.8	75.8	1.0	76.2	75.1	1.1
H21	87.0	86.8	0.2	65.8	64.6	1.2	76.7	75.7	1.0	77.4	76.0	1.4	78.1	77.0	1.1
H20	80.3	80.1	0.2	55.8	55.2	0.6	71.2	71.0	0.2	75.4	75.2	0.2	73.8	73.6	0.2
H19	90.3	90.1	0.2	74.1	73.4	0.7	79.9	80.6	-0.7	78.2	80.3	-2.1	80.8	81.6	-0.8

(4) 設問別調査結果

全国とのかい離が大きい(±4ポイント以上)設問等

(: かい離がプラス かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

【話すこと・聞くこと】

なし

【書くこと】

なし

【読むこと】

なし

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する問題の平均正答率は29.3%で、全国平均を4.4ポイント下回っている。[9 四]

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		正答率の かい離	無解答の かい離
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 徴 に 関 す る 事 項	選 択 式	短 答 式	記 述 式	宮 城 県 (公 立)	全 国 (公 立)	宮 城 県 (公 立)	全 国 (公 立)		
1一	スピーチの途中で聞き手の反応を見て、とった対応として適切なものを選択する	1 イ						93.8	93.0	0.1	0.1	0.8	0.0	
1二	「成否」という言葉を、聞いて分かりやすい表現に直す	1 ウ						64.4	65.0	13.1	12.0	-0.6	1.1	
2一	意見文に対して出された指摘の理由として適切なものを選択する		1 オ					80.7	79.8	0.1	0.2	0.9	-0.1	
2二	意見文を直した意図として適切なものを選択する		1 エ					84.4	83.6	0.1	0.2	0.8	-0.1	
3一	用いられている表現の工夫として適切なものを選択する				1(1) イ(オ)			56.0	58.3	0.4	0.4	-2.3	0.0	
3二	一人も返事をしたものがなかった理由として適切なものを選択する			1 ウ				89.5	88.7	0.1	0.2	0.8	-0.1	
3三	嘉助の言動から読み取れる様子として適切なものを選択する			2 イ				90.7	89.8	0.3	0.3	0.9	0.0	
4一	棒グラフの 部の変化の内容を適切に書く		1 ウ					65.6	67.6	4.2	4.2	-2.0	0.0	
5一	「なぜ、排水管はS字形になっているのか。」という問いに対する答えとして適切なものを選択する			2 オ				94.2	93.6	0.2	0.2	0.6	0.0	
6一	「あす」と「あした」という言葉の意味の変化を整理した表に当てはまる言葉として適切なものを選択する			1 イ				71.5	71.3	0.2	0.3	0.2	-0.1	
6二	文章について説明したものととして適切なものを選択する			1 エ				87.7	87.1	0.4	0.4	0.6	0.0	
7一	二つの回答案の構成の違いを説明したものととして適切なものを選択する		2 イ					72.4	70.6	0.5	0.7	1.8	-0.2	
7二	要望を適切に捉え、回答案の冒頭に一文を加える		2 ウ					68.3	66.4	8.6	8.6	1.9	0.0	
8一	インタビューをする際の質問の意図として適切なものを選択する	1 エ						85.5	84.6	0.4	0.6	0.9	-0.2	
8二	意図に合った質問として適切なものを選択する	1 エ						77.0	76.1	0.5	0.7	0.9	-0.2	
9一1	漢字を書く(ビュウソク五メートルの風が吹く)			2(1) ウ(イ)				87.9	88.5	2.2	2.2	-0.6	0.0	
9一2	漢字を書く(地図のシュクシヤクを調べる)			2(1) ウ(イ)				71.3	72.1	11.2	10.1	-0.8	1.1	
9一3	漢字を書く(アツったお金を貯金する)			2(1) ウ(イ)				68.8	70.9	19.1	15.9	-2.1	3.2	
9二1	漢字を読む(詳細に述べる)			2(1) ウ(ア)				78.8	78.2	5.1	5.1	0.6	0.0	
9二2	漢字を読む(シャツの袖をまくる)			2(1) ウ(ア)				94.7	94.1	0.8	1.2	0.6	-0.4	
9二3	漢字を読む(学校のことが新聞に載る)			2(1) ウ(ア)				97.7	97.2	1.0	1.3	0.5	-0.3	
9三ア	適切な語句を選択する(将来は、 <u>気象</u> 予報士になりたい)			2(1) イ(イ)				98.1	97.6	0.3	0.5	0.5	-0.2	
9三イ	適切な語句を選択する(彼がこの討論の <u>口火</u> を切った)			1(1) イ(ウ)				58.2	55.5	0.8	0.9	2.7	-0.1	
9三ウ	適切な敬語を選択する(私が先生のお宅に <u>参ります</u>)			2(1) イ(ア)				85.0	84.1	0.5	0.7	0.9	-0.2	
9三エ	適切な語句を選択する(彼女は、学級の <u>壁</u> の下の力持ちと <u>言える</u> 存在だ)			1(1) イ(ウ)				74.1	70.8	0.6	0.8	3.3	-0.2	
9三オ	適切な語句を選択する(<u>たなびく</u> 雲の間から、春の光がもれている)			1(1) イ(ウ)				49.7	49.0	0.5	0.7	0.7	-0.2	
9三カ	適切な語句を選択する(新聞を読む <u>習慣</u> を身に付ける)			2(1) イ(イ)				87.4	86.9	0.7	0.9	0.5	-0.2	
9四	「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する			1(1) イ(エ)				60.2	62.3	0.8	0.9	-2.1	-0.1	
9四				1(1) イ(エ)				29.3	33.7	1.0	1.1	-4.4	-0.1	
9五	運筆の際の説明に対応する部分として適切なものを選択する			1(2) ア				85.1	85.9	0.6	0.8	-0.8	-0.2	
9六	手紙の後付けの直し方とその理由として適切なものを選択する			1(2) ア				61.5	58.2	1.0	1.2	3.3	-0.2	
9七1	漫画の言葉に対応する部分として適切なものを古典の文章の中から選択する			2(1) ア(イ)				76.1	75.3	1.2	1.4	0.8	-0.2	
9七2	古典の作品名を漢字で書く			1(1) ア(イ)				66.9	66.7	10.5	9.9	0.2	0.6	

7 中学校国語B問題

(1) 結果の概要

平均正答率が66.2%であり、全国平均を0.4ポイント上回っている。

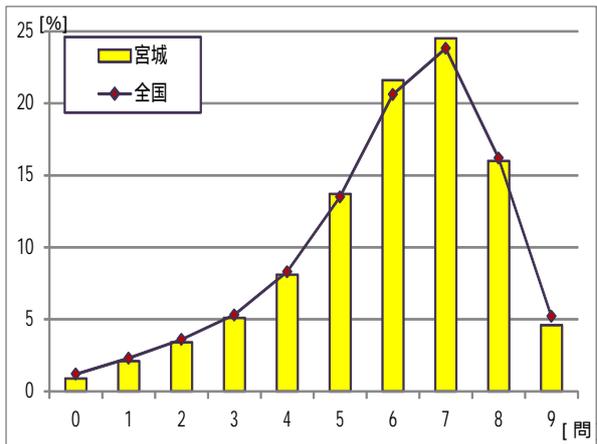
「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域の平均正答率は全国平均を上回っているが、「書くこと」の領域は全国平均を0.8ポイント下回っている。

(2) 正答数分布状況

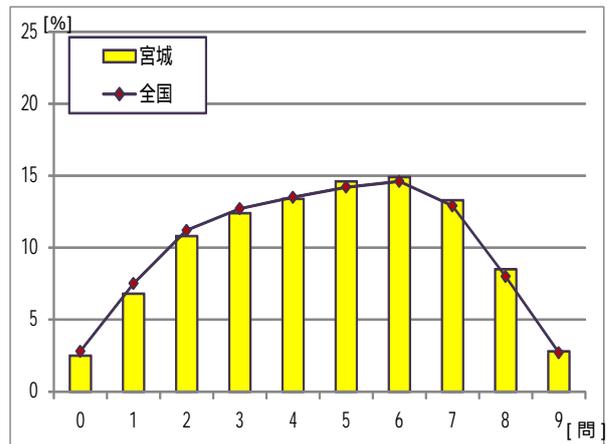
正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。

正答数が4問(45%程度)以下の生徒の割合が全国と比べて低く、6問から7問(70%～80%程度)正答した生徒の割合が高い傾向が見られる。

【平成27年度正答数度数分布グラフ】



【平成26年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域は全国平均を上回っているが、「書くこと」の領域は全国平均を0.8ポイント下回っている。

年度	話すこと・聞くこと			書くこと			読むこと			伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			合計		
	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との比較 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との比較 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との比較 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との比較 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との比較 (%)
H27	73.0	72.2	0.8	35.9	36.7	-0.8	62.8	62.6	0.2				66.2	65.8	0.4
H26				43.1	41.0	2.1	50.5	49.2	1.3	57.6	56.8	0.8	52.0	51.0	1.0
H25				63.9	62.7	1.2	69.2	67.8	1.4	64.2	64.6	-0.4	68.6	67.4	1.2
H24	61.9	59.9	2.0	59.1	57.4	1.7	64.0	61.5	2.5				65.5	63.3	2.2
H22	47.5	45.6	1.9	62.8	60.2	2.6	68.8	67.5	1.3				66.7	65.3	1.4
H21				75.0	72.5	2.5	76.4	74.5	1.9				76.4	74.5	1.9
H20				48.1	46.7	1.4	61.8	60.8	1.0	63.1	60.5	2.6	61.8	60.8	1.0
H19	81.8	81.3	0.5	63.4	64.4	-1.0	69.8	70.6	-0.8	67.4	68.5	-1.1	71.0	72.0	-1.0

(4) 設問別調査結果

全国とのかい離が大きい(±4ポイント以上)設問等

(: かい離がプラス かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

【話すこと・聞くこと】

なし

【書くこと】

なし

【読むこと】

なし

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 設問なし

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		正答率の かい離	無解答の かい離
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	選択式	短答式	記述式	宮城県(公立)	全国(公立)	宮城県(公立)	全国(公立)		
1ー	ノートのその他の情報を役立てられる場合として適切なものを選択する	2ウ						75.8	73.2	0.1	0.2	2.6	-0.1	
1二	フリップを作成する際に取り入れたポイントとして適切なものを選択する	2ウ						88.6	87.3	0.3	0.4	1.3	-0.1	
1三	演奏するタイミングを選択し、その理由をノートの内容と結び付けて書く	2ウ	1ウ					54.7	56.2	2.5	2.8	-1.5	-0.3	
2ー	ウェブページの文章の内容について述べた文の空欄に当てはまる言葉として適切なものを選択する			1イ				83.4	82.6	0.1	0.3	0.8	-0.2	
2二	雑誌の記事に書かれていることとして適切なものを選択する			1イ				68.1	67.8	0.3	0.3	0.3	0.0	
2三	資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていきたいか、自分の考えを書く	2ウ		2オ				22.2	23.0	3.7	3.7	-0.8	0.0	
3ー	「お泣きなさるな」という翻訳の効果として適切なものを選択する			1エ				89.2	88.6	0.4	0.5	0.6	-0.1	
3二	「あたりは……良かった。」の説明として適切なものを選択する			2ウ				83.1	82.6	0.5	0.7	0.5	-0.2	
3三	文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く	1ウ		2ウ				30.6	31.1	9.7	11.2	-0.5	-1.5	

生徒質問紙

質 問 事 項	宮城県	全国	かい離	
今回の国語の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。が、最後まで解答を書こうと努力しましたか	1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	77.0	76.4	0.6
	2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた	19.5	19.5	0.0
	3 書く問題は全く解答しなかった	2.9	3.4	-0.5
調査問題の解答時間は十分でしたか (国語A)	1 時間が余つた	59.7	65.7	-6.0
	2 ちょうどよかつた	34.5	28.7	5.8
	3 やや足りなかつた	4.3	4.0	0.3
	4 全く足りなかつた	1.1	1.1	0.0
調査問題の解答時間は十分でしたか (国語B)	1 時間が余つた	45.7	51.5	-5.8
	2 ちょうどよかつた	37.9	34.5	3.4
	3 やや足りなかつた	13.8	11.4	2.4
	4 全く足りなかつた	2.3	2.1	0.2

8 中学校数学A問題

(1) 結果の概要

平均正答率は63.1%で、全国平均を1.3ポイント下回っているものの、全国平均とのかい離は、平成26年度より0.5ポイント小さくなっている。

平均正答率で全国平均を上回った問題は36問中9問であった。

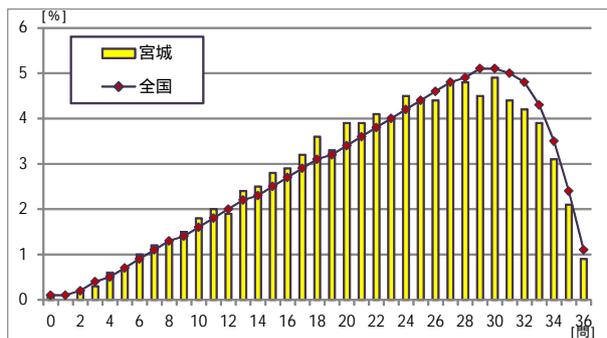
「図形」領域を除く3領域で、無解答率10%以上の問題がそれぞれ2問ずつあり、いずれも全国平均と比較すると1.0ポイント以上のかい離が見られる。

(2) 正答数分布状況

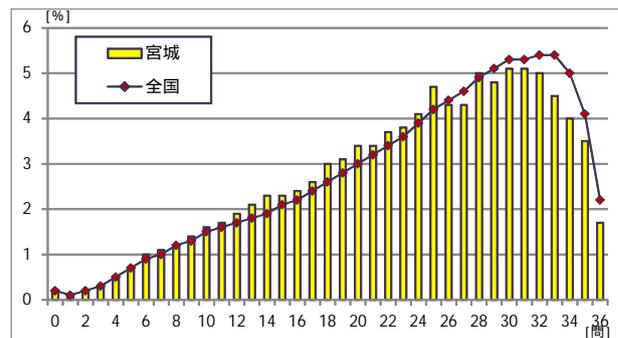
正答数の分布は全国と同様の傾向が見られるが、全国之最頻値の左側がやや厚い。

全国と比較して、26問(70%程度)以上正答している生徒の割合が低く、6問~24問(15%~65%程度)正答している生徒の割合が高くなっている。

【平成27年度正答数度数分布グラフ】



【平成26年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

全ての領域で、平均正答率が全国平均を下回っているものの、平成26年度よりもかい離が小さくなっており、特に、「図形」領域ではやや改善の傾向が見られる。

「数と式」、「関数」の2領域では、全国平均正答率とのかい離がともに1.8ポイントあり、引き続き課題が見られる。

年度	数と式			図形			関数			資料の活用			合計		
	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)												
H27	65.9	67.7	-1.8	62.8	63.4	-0.6	59.9	61.7	-1.8	62.0	63.0	-1.0	63.1	64.4	-1.3
H26	75.5	77.4	-1.9	65.2	66.4	-1.2	56.0	58.0	-2.0	56.7	59.1	-2.4	65.6	67.4	-1.8
H25	71.7	72.7	-1.0	63.2	64.6	-1.4	57.0	58.7	-1.7	45.1	46.8	-1.7	62.2	63.7	-1.5
H24	66.1	67.5	-1.4	66.2	66.7	-0.5	50.3	52.1	-1.3	△	△	△	60.8	62.1	-1.3
H22	74.7	75.2	-0.5	63.8	64.3	-0.5	54.6	54.3	0.3				64.4	64.6	-0.2
H21	66.0	67.3	-1.3	64.8	64.6	0.2	55.7	56.2	-0.5				62.1	62.7	-0.6
H20	65.4	68.0	-2.6	61.6	62.7	-1.1	57.3	58.6	-1.3				61.4	63.1	-1.7
H19	72.4	74.4	-2.0	73.7	75.5	-1.8	64.4	65.9	-1.5				70.3	71.9	-1.6

(4) 設問別の調査結果

全国とのかい離が大きい(±4ポイント以上)設問等

(: かい離がプラス かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

【数と式】

具体的な事象における数量の関係を捉え、連立方程式をつくる問題の平均正答率は39.0%であり、全国平均を5.9ポイント下回っている。[3(3)]

連立二元一次方程式を解く問題の平均正答率は52.5%であり、全国平均を4.3ポイント下回っている。[3(4)]

【図形】

なし

【関数】

与えられた比例の式について、そのグラフ上の点のx座標を基にy座標を求める問題の平均正答率は60.7%であり、全国平均を4.2ポイント下回っている。[10(2)]

【資料の活用】

なし

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		正答率の かい離	無解答率の かい離
		数と式	図形	関数	資料の活用	選択式	短答式	記述式	宮城県 (公立)	全国 (公立)	宮城県 (公立)	全国 (公立)		
1(1)	12:9 と等しい比を選ぶ	小6 数量 (1)							93.7	93.6	0.1	0.1	0.1	0.0
1(2)	$12 - 2 \times (-6)$ を計算する	1(1) ウ							80.6	83.7	1.4	1.2	-3.1	0.2
1(3)	a が正の数のとき、 $a \times (-2)$ の計算の結果について、正しい記述を選ぶ	1(1) イ							74.2	75.7	0.2	0.3	-1.5	-0.1
1(4)	ある日の最低気温を基準にして、その前日の最低気温との差から、前日の最低気温を求める	1(1) ア,エ							75.8	75.4	1.3	1.3	0.4	0.0
2(1)	$5x - x$ を計算する	1(2) ウ							84.6	85.3	1.6	1.6	-0.7	0.0
2(2)	赤いテープの長さが a cm で、白いテープの長さの $3/5$ 倍のとき、白いテープの長さを a を用いた式で表す	1(2) エ							20.0	22.2	10.3	9.0	-2.2	1.3
2(3)	等式 $2x - y = 5$ を y について解く	2(1) ウ							62.5	64.2	8.0	6.8	-1.7	1.2
2(4)	連続する3つの整数のうち最も小さい整数を n とするとき、それらの和が中央の整数の3倍になることを、 n を用いた式で表す	2(1) イ							56.5	57.0	7.9	7.9	-0.5	0.0
3(1)	一元一次方程式 $7x = 5x + 4$ を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	1(3) イ							80.2	79.4	0.5	0.5	0.8	0.0
3(2)	一元一次方程式 $1.2x - 6 = 0.5x + 1$ を解く	1(3) ウ							71.4	73.8	8.0	7.1	-2.4	0.9
3(3)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を表した式を選ぶ	2(2) ウ							39.0	44.9	0.9	0.9	-5.9	0.0
3(4)	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 4x + 2y = 5 \\ x + y = 2 \end{cases}$ を解く	2(2) ウ							52.5	56.8	12.7	10.4	-4.3	2.3
4(1)	垂線の作図で利用されている図形の性質を選ぶ		1(1) ア						57.7	59.1	1.0	1.0	-1.4	0.0
4(2)	△ABC を、矢印の方向に4cm 平行移動した図形をかく		1(1) イ						51.9	54.5	2.1	2.2	-2.6	-0.1
5(1)	直方体において、与えられた辺に垂直な面を書く		1(2) ア						47.9	47.4	1.8	1.9	0.5	-0.1
5(2)	直角三角形の斜辺を軸として回転させてできる立体を選ぶ		1(2) イ						83.7	83.4	0.2	0.3	0.3	-0.1
5(3)	与えられた投影図から立体を読み取り、その立体を選ぶ		1(2) イ						83.5	83.8	0.3	0.4	-0.3	-0.1
5(4)	与えられた式で体積が求められる立体を全て選ぶ		1(2) ウ						53.6	56.4	1.5	1.4	-2.8	0.1
6(1)	同位角の位置にある角について正しい記述を選ぶ		2(1) ア						81.5	80.3	0.4	0.4	1.2	0.0
6(2)	四角形を五角形に変えたときの、内角の和の変化について正しい記述を選ぶ		2(1) イ						69.5	69.7	0.7	0.9	-0.2	-0.2
7(1)	ひし形 ABCD において、AC ⊥ BD が表す性質を選ぶ		2(2) ウ						75.3	76.1	0.4	0.5	-0.8	-0.1
7(2)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く		2(2) ア						76.1	76.1	7.5	6.8	0.0	0.7
7(3)	与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ		2(2) ウ						46.8	48.1	0.8	0.9	-1.3	-0.1
8	対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ		2 (1)ア (2)イ						26.2	25.8	1.2	1.2	0.4	0.0
9	y が x の関数でない事象を選ぶ			1(1) ア					82.2	81.5	0.9	0.9	0.7	0.0
10(1)	反比例のグラフを選ぶ			1(1) エ					59.6	61.7	1.2	1.2	-2.1	0.0
10(2)	比例 $y = 2x$ のグラフ上の点 A の x 座標が3のときの y 座標を求める			1(1) ウ,エ					60.7	64.9	11.4	9.8	-4.2	1.6
10(3)	比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求める			1(1) エ					49.0	49.3	20.0	17.2	-0.3	2.8
11	一次関数の表から、 x と y の関係を表した式を選ぶ			2(1) イ					61.7	64.7	1.5	1.4	-3.0	0.1
12(1)	時間と道のりの関係を表すグラフから、速さが最も速い区間を選ぶ			2(1) イ					46.7	49.9	1.3	1.3	-3.2	0.0
12(2)	時間と道のりの関係を表すグラフを基に、出発してから15分後にいる地点までの家からの道のりを求める			2(1) イ					82.6	83.8	9.5	8.5	-1.2	1.0
13	二元一次方程式 $x + y = 3$ の解を座標とする点の集合として正しいものを選ぶ			2(1) ウ					36.6	37.9	2.4	2.3	-1.3	0.1
14(1)	反復横とびの記録の中央値を求める				1(1) ア				43.1	46.0	11.9	9.7	-2.9	2.2
14(2)	度数分布表について、ある階級の度数を求める				1(1) ア				74.6	75.9	11.0	9.4	-1.3	1.6
15(1)	セットメニューの選び方の総数を求める				小6 数量 (5)				72.2	74.8	5.6	5.2	-2.6	0.4
15(2)	さいころを投げるときの確率について正しい記述を選ぶ				2(1) ア				58.2	55.4	2.3	2.1	2.8	0.2

9 中学校数学B問題

(1) 結果の概要

平均正答率は40.7%で、全国平均を0.9ポイント下回っている。全国平均とのかい離は、平成26年度より0.5ポイント大きくなっており、課題が見られる。

平均正答率で全国平均を上回った問題は15問中5問であった。

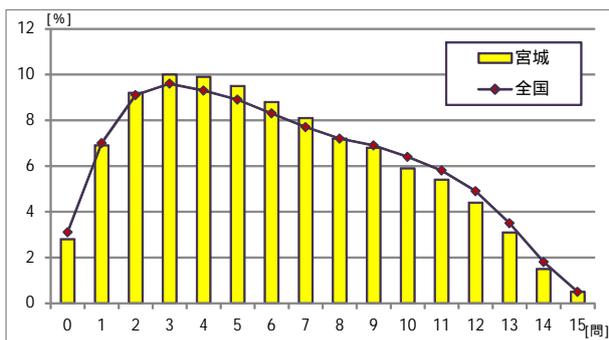
「資料の活用」領域の全ての問題で、平均正答率が全国平均を下回っている。

(2) 正答数分布状況

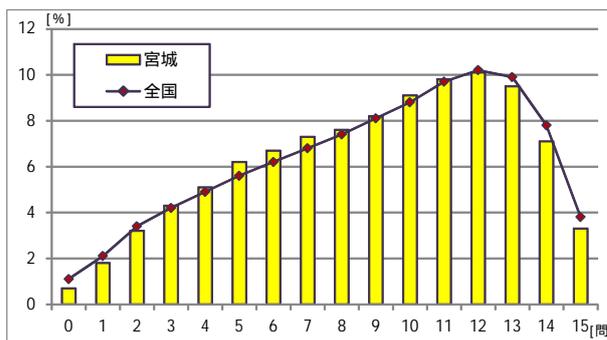
正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。

全国と比べ、9問(60%程度)以上正答した生徒の割合が低く、2問～7問(15%～45%程度)正答している生徒の割合が高くなっている。

【平成27年度正答数度数分布グラフ】



【平成26年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

全国平均とのかい離が大きく、平成25年度以降課題となっていた「数と式」領域においては、他の3領域と比較して、かい離が小さくなっている。

「関数」領域の平均正答率は、平成26年度は全国平均を上回っていたのに対し、平成27年度は全国平均を1.0ポイント下回り、課題が見られる。また、「資料の活用」の領域においても、全国平均とのかい離が大きくなっている。

年度	数と式			図形			関数			資料の活用			合計		
	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との比較(%)												
H27	62.4	63.2	-0.8	38.0	39.0	-1.0	29.7	30.7	-1.0	30.1	31.2	-1.1	40.7	41.6	-0.9
H26	54.7	56.9	-2.2	57.4	58.6	-1.2	65.7	64.4	1.3	55.4	55.9	-0.5	59.4	59.8	-0.4
H25	36.1	41.7	-5.6	45.8	44.8	1.0	39.2	40.0	-0.8	42.7	42.2	0.5	39.7	41.5	-1.8
H24	41.4	40.9	0.5	61.8	59.7	2.1	30.9	39.8	0.1	△	△	△	50.5	49.3	1.2
H22	43.5	43.2	0.3	41.1	40.2	0.9	46.2	45.5	0.7				44.0	43.3	0.7
H21	61.6	61.4	0.2	58.8	57.5	1.3	54.7	54.1	0.6				57.7	56.9	0.8
H20	53.8	54.2	-0.4	59.2	57.6	1.6	44.2	44.7	-0.5				49.1	49.2	-0.1
H19	45.5	48.2	-2.7	54.0	53.1	0.9	67.0	67.9	-0.9				59.4	60.6	-1.2

(4) 設問別調査結果

全国とのかい離が大きい(±4ポイント以上)設問等

(: かい離がプラス かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

【数と式】

なし

【図形】

なし

【関数】

なし

【資料の活用】

なし

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		正答率の かい離	無解答率の かい離
		数と式	図形	関数	資料の活用	選択式	短答式	記述式	宮城県 (公立)	全国 (公立)	宮城県 (公立)	全国 (公立)		
1(1)	投映距離と投映画面の高さの関係を式で表す			1(1) エ,オ				26.0	29.3	23.0	21.1	-3.3	1.9	
1(2)	投映画面がスクリーンに収まり、できるだけ大きく映し出すことができる投映距離を選ぶ			1(1) エ,オ				35.8	35.1	1.0	0.9	0.7	0.1	
1(3)	映像の明るさを2倍にするための投映画面の面積の変え方を選び、その理由を説明する			1(1) エ,オ				10.6	11.7	5.4	5.6	-1.1	-0.2	
2(1)	連続する3つの整数が19, 20, 21のとき、それらの和が中央の整数の3倍になるかどうかを確かめる式を書く	2(1) イ,ウ						79.3	78.8	6.3	6.0	0.5	0.3	
2(2)	連続する3つの整数の和が中央の整数の3倍になることの説明を完成する	2(1) イ,ウ						40.7	43.1	25.6	24.0	-2.4	1.6	
2(3)	連続する5つの整数の和について成り立つ事柄を表現する	2(1) イ,ウ						63.8	63.8	20.4	19.4	0.0	1.0	
3(1)	ポップアップカードを90°に開いたとき、四角形EFGHが正方形になる場合のEFの長さを求める		1(2) イ 2(2) ウ					42.9	42.6	9.0	8.7	0.3	0.3	
3(2)	四角形EFGHがいつでも平行四辺形になるように点Fの位置を決める方法を、平行四辺形になるための条件を用いて説明する		1(2) イ 2(2) ウ					18.7	21.2	52.8	48.2	-2.5	4.6	
4(1)	証明で用いた三角形の合同を根拠として、証明したこと以外に新たにわかることを選ぶ		2(2) ア,ウ					42.9	42.5	1.1	1.2	0.4	-0.1	
4(2)	正方形ABCDを平行四辺形ABCDに変えても、AE=CFとなることの証明を完成する		2(2) イ,ウ					47.7	49.6	19.5	18.6	-1.9	0.9	
5(1)	1回目の調査で、落とし物の合計のうち、文具の占める割合を求める式を答える				小5 数量 (3) 1(1) イ			38.3	39.1	27.9	26.8	-0.8	1.1	
5(2)	2回目の調査の方が落とし物の状況がよくなったとは言いきれないと主張することもできる理由を、グラフを基に説明する				1(1) イ			21.9	23.3	30.5	29.7	-1.4	0.8	
5(3)	記名のある落とし物を1個1点、ない落とし物を1個2点として集計するとき、表彰する学級の決め方として正しい記述を選ぶ	2(1) イ						66.0	67.3	1.5	1.5	-1.3	0.0	
6(1)	中心角の大きさxと半径の長さyの間にある関係について、正しい記述を選ぶ			2(1) イ				47.5	46.5	1.3	1.3	1.0	0.0	
6(2)	底面になる円の半径の長さが8cmのとき、表や式から、側面になるおうぎ形の中心角の大きさを求める方法を説明する			2(1) イ				28.5	30.8	18.3	17.1	-2.3	1.2	

生徒質問紙

質 問 事 項		宮城県	全国	かい離
今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。最後まで解答を書こうと努力しましたか	1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	50.0	51.3	-1.3
	2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた	44.0	42.2	1.8
	3 書く問題は全く解答しなかった	5.6	6.1	-0.5
調査問題の解答時間は十分でしたか (数学A)	1 時間が余つた	52.6	59.3	-6.7
	2 ちょうどよかつた	36.4	31.3	5.1
	3 やや足りなかつた	8.8	7.1	1.7
	4 全く足りなかつた	1.8	1.7	0.1
調査問題の解答時間は十分でしたか (数学B)	1 時間が余つた	38.4	44.3	-5.9
	2 ちょうどよかつた	33.7	32.3	1.4
	3 やや足りなかつた	22.0	18.4	3.6
	4 全く足りなかつた	5.5	4.5	1.0

10 中学校理科

(1) 結果の概要

平均正答率は53.7%であり、全国平均を0.7ポイント上回る結果となっている。全国平均とのかい離は平成24年度より1.0ポイント小さくなっている。

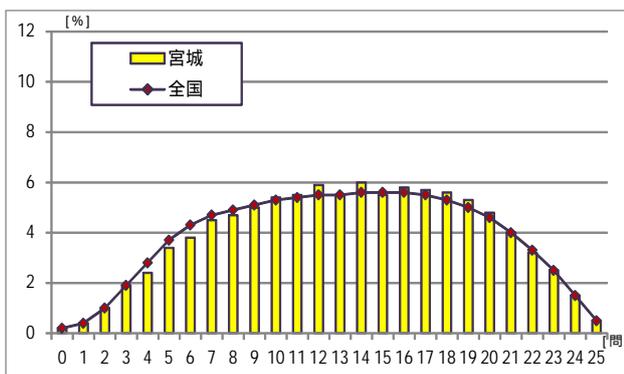
「物理的領域」「化学的領域」「生物的領域」の3領域において全国平均を上回っている。

(2) 正答数分布状況

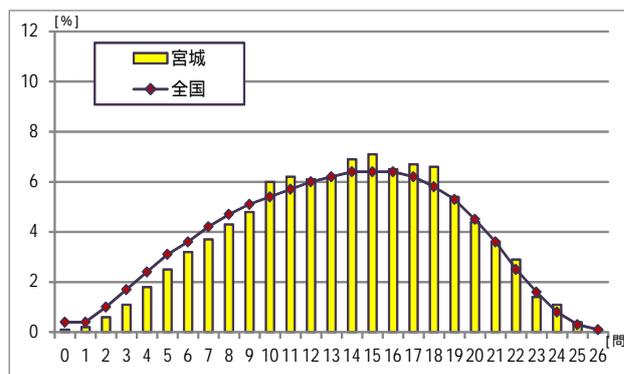
正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。

4問～9問(15%～35%程度)正答した生徒の割合が全国と比べて低く、正答数が16問～20問(65%～80%程度)以下の生徒の割合は全国より高くなっている。

【平成27年度正答数度数分布グラフ】



【平成24年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

「物理的領域」「化学的領域」「生物的領域」の3領域において全国平均を上回っている。「地学的領域」においては、全国平均を0.1ポイント下回っている。

年度	主として「知識」に関する問題			主として「活用」に関する問題			合計		
	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との比較 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との比較 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との比較 (%)
H27	65.6	63.8	+1.8	49.1	48.8	+0.3	53.7	53.0	+0.7
H24	58.1	56.1	+2.0	49.4	47.8	+1.6	52.7	51.0	+1.7

年度	物理的領域			化学的領域			生物的領域			地学的領域			合計		
	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との比較 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との比較 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との比較 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との比較 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との比較 (%)
H27	49.3	48.9	+0.4	56.5	56.2	+0.3	64.7	62.2	+2.5	46.3	46.4	-0.1	53.7	53.0	+0.7
H24	48.1	45.9	+2.2	59.6	56.9	+2.7	51.2	50.7	+0.5	53.6	52.0	1.6	52.7	51.0	+1.7

(4) 設問別調査結果

全国とのかい離が大きい(±4ポイント以上)設問等

(: かい離がプラス かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

【物理領域】

なし

【化学領域】

なし

【生物領域】

背骨のある動物の名称を答える問題の平均正答率は70.7%で、全国平均を6.8ポイント上回っている。[8(1)]

【地学領域】

なし

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	枠組み		学習指導要領の分野等				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		正答率の かい離	無回答率の かい離
		主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	第1分野		第2分野		選択式	短答式	記述式	宮城県(公立)		全国(公立)			
				物理的領域	化学的領域	生物的領域	地学的領域				宮城県(公立)	全国(公立)	宮城県(公立)	全国(公立)		
1(1)	化学式				(4) イ(ア)						80.4	79.6	0.2	0.3	0.8	-0.1
1(1)	濃度				(2) イ(ア)						44.6	45.0	19.9	17.6	-0.4	2.3
1(2)					(2) イ(イ)						32.4	32.6	0.3	0.3	-0.2	0.0
1(3)					(2) ア(イ)						52.4	53.0	19.5	18.8	-0.6	0.7
1(4)					(4) ア(ア) ウ(イ)						74.1	73.6	0.4	0.4	0.5	0.0
1(5)					(4) ア(ア)						52.8	51.7	0.8	0.8	1.1	0.0
1(6)					(4) ア(ア)						58.5	57.7	1.4	1.2	0.8	0.2
2(1)							(4) ア(ア)				79.0	77.9	8.3	9.0	1.1	-0.7
2(2)							(4) ア(ア)				50.4	48.6	0.4	0.5	1.8	-0.1
2(3)							(4) イ(ア)				13.3	14.5	7.2	6.7	-1.2	0.5
2(4)				(1) イ(イ)			(4) イ(ア)				63.7	62.2	0.5	0.5	1.5	0.0
3(1)							(4) ア(ア) イ(ア)				35.7	36.5	0.6	0.6	-0.8	0.0
3(2)							(4) イ(ア)				35.3	39.0	0.8	0.8	-3.7	0.0
4(1)				(1) ア(イ)							42.8	43.7	0.6	0.6	-0.9	0.0
4(2)				(1) ア(イ)							50.5	50.3	1.0	1.1	0.2	-0.1
5(1)				(3) ア(イ)							59.7	59.6	16.0	15.6	0.1	0.4
5(2)				(3) イ(ウ)							56.1	56.8	31.7	30.7	-0.7	1.0
6(1)				(1) ア(ウ)							42.6	40.1	0.8	0.8	2.5	0.0
6(2)				(1) ア(ウ)							29.5	29.9	1.1	1.0	-0.4	0.1
7(1)					(3) イ(ア)						74.1	72.2	0.8	0.9	1.9	-0.1
7(2)					(3) イ(ア)						78.2	76.4	1.1	1.1	1.8	0.0
7(3)					(3) イ(ア)						59.3	57.3	27.8	27.8	2.0	0.0
8(1)					(3) ウ(ア)						70.7	63.9	9.5	10.4	6.8	-0.9
8(2)					(3) イ(ア)						57.2	55.7	1.5	1.4	1.5	0.1
8(3)					(3) イ(ア)						48.4	47.4	25.6	25.5	1.0	0.1

児童質問紙

質問事項	宮城県	全国	かい離
	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。最後まで解答を書くことと努力しましたか	52.4	51.8
1 全て書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	41	40.2	0.8
2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた	5.4	6.7	-1.3
3 書く問題は全く解答しなかった	49.4	52.5	-3.1
1 時間が余つた	35.4	32.8	2.6
2 ちょうどよかつた	12.5	11.7	0.8
3 やや足りなかつた	2.4	2.5	-0.1
4 全く足りなかつた			

類似問題の経年比較（H24小とH27中の類似問題の比較）

(1) 中学校国語

A8一 話し手の意図を捉えながら聞き、発言の内容に応じて質問をする

平成24年度小学校調査での正答率は66.1%であったが、今年度調査では85.5%であった。

平成27年度の全国平均とのかい離は+0.9ポイントで平成24年度と同様の結果であった。正答率も8割を上回る結果となり、改善が見られた。

インタビューをする際には、一問一答だけではなく、必要に応じて適切な質問をしながら聞くことで、話の内容や話し手の意図をより明確に捉えることができる。その際、質問には幾つかの種類があることを具体例を挙げながら指導することが大切である。

H24小国A2

2

中村さんは、次の【高木さんの発表のはじめの部分】を聞きながら、質問をしたい内容をカードに書いています。カードの内容は、どのようなねらいをもっていきますか。その説明として最もふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【高木さんの発表のはじめの部分】

みなさん、野生動物とはどのような動物か知っていますか。
野生動物とは、山や野原などの自然の中でくらしている動物たちのことです。その種類を正確につかむことは難しく、五百万とも五千万ともいわれています。その野生動物の一部が世界各地で絶滅の危機に直面しているということをニュースで知りました。
そこで、わたしは、どのような原因で絶滅が進んでいるのか疑問をもち、調べてみることにしました。
（発表が続く）

【中村さんが書いたカード】

野生動物の一部が世界各地で絶滅の危機に直面しているということだが、それらの動物の名前をいくつか教えてほしい。

- 1 調べるために役に立った資料は、どのようなものかを知ろうとしている。
- 2 最も伝えたかったことは、どのようなことを確かめようとしている。
- 3 発表の内容について、どのような具体例があるのかを知ろうとしている。
- 4 調べたきっかけは、どのようなことだったのかを確かめようとしている。

(全国) 65.2%

(県) 66.1%

8

林さんは、「総合的な学習の時間」に「すし」について調べ、まとめることにしました。次は、林さんが【事前に準備した質問】とすし屋の店主である山本さんにインタビューをした際の【記録の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【事前に準備した質問】

- ・ おすしの魅力は、どのようなところですか。
- ・ 酢飯を作るときに気を付けていることは何ですか。
- ・ すしに、寿司、鰯などいろいろな漢字があるのはなぜですか。



【記録の一部】

林 おすしの魅力は、どのようなところだとお考えですか。
 山本 すしの魅力は、季節を感じられるということですね。
 林 季節を感じられるということですが、おすしの何で季節を感じることができるのですか。
 山本 例えば、旬の食材です。私はいつも市場の人から情報を聞いて、旬の魚をできるだけ安く仕入れるようにしています。
 林 苦労して旬の食材を仕入れているのですね。ところで、酢飯を作るときに気を付けていることは何ですか。
 山本 お米は時期によって状態が違うので、それに合わせて水や酢の量を調節することですね。

一 線部「季節を感じられるということですが、おすしの何で季節を感じることができるのですか。」とありますが、林さんはどのような意図でこの質問をしたと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 相手の発言を確かめて、事前に準備していた別の話題に移ろうとした。
- 2 相手の発言の問題点を指摘し、理解をより確かなものにしようとした。
- 3 相手の発言の内容をまとめて、他のものとの相違点を捉えようとした。
- 4 相手の発言を受けて、そこからさらに具体的な話を聞き出そうとした。

(全国) 84.6%
 (県) 85.5%

A 9六 手紙の基本的な形式に込められた意味を理解する

平成24年度小学校調査での正答率は27.7%であったが、今年度調査では61.5%であった。平成24年度では、全国平均とのかい離が+4.2ポイント、平成27年度では+3.3ポイントといずれも全国平均を上回っている。しかし、正答率が6割程度という状況であり、更なる改善が必要である。

手紙を書く際には、伝える相手の立場や気持ちに配慮し、手紙の基本的な形式を理解して書くように指導することが大切である。その際、手紙の形式に込められた相手への敬意についても考えさせることが重要である。

H 2 4 小 国 B 1 三

1

中央小学校の平川さんの学級では、働くことの大切さについて発表し合うことになりました。平川さんのグループでは、先月、学級に招いた「かがやきの森動物園」の園長の宮本さんにあらためて話を聞くことになりました。次は、代表の平川さんが「手紙の構成」をもとにしながら書いている、動物園への訪問をお願いする「手紙の下書き」です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

■前文
(はじめのあいさつ)
季節の言葉や自分の様子やあいさつ

■本文
(中心になること)
手紙を出す理由やお願いする内容など

■後付け
(終わりのあいさつ)
相手の気づかう言葉など

■後付け
(手紙の最後に付ける内容)
名前や日付など

【手紙の構成】

【手紙の下書き】

木々の緑が美しい季節となりました。先日はおかげさまで、わざわざ中央小学校までおこしいただき、ありがとうございました。わたしは、その時、学級を代表してお礼の言葉を申し上げた、六年一組の平川春美です。その後、お元気でいらっしゃいますか。

今日は、宮本さんにお願いがあり、手紙を書きました。たん任の前田先生から事前に連絡を差し上げたかと思いますが、わたしたちの学級では、働くことの大切さについて調べたことをグループごとに発表し合うことになりました。そこで、わたしたちのグループでは、動物と関わる仕事について詳しく調べて発表しようと考えました。

つきましては、

A

そのために一度、宮本さんの職場にうかがわせていただくことはできないでしょうか。勝手なお願いで大変申しわけありませんが、ほう問ができるかどうか、お返事をいただければと思います。

お返事には、

B

お返事の内容を確かめさせていただき、それからへうかがう日時について、できるだけ早くお電話を差し上げよういたします。

ご迷わくをおかけしますが、ご協力をいただけますよう、どうかよろしく願います。これからもお体に気をつけてお過ごしください。

ウ

ア

イ

三 平川さんは、手紙の後付けを書こうとしています。「手紙の下書き」の
イ・ウの中に、どのような内容を書くかよいですか。次の1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 中央小学校 六年一組 平川 春美

2 かがやきの森動物園 園長 宮本 真一様

3 平成二十四年五月七日

(全国) 23.5%

(県) 27.7%

六 次は、松田洋子さんが、職場体験でお世話になった小山健さんへ書いたお礼の「手紙の下書き」です。松田さんは、「手紙の下書き」の後付けの部分について正しく直すことにしました。直し方とその理由として最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選びなさい。

【手紙の下書き】

拝啓

さわやかな季節となりました。お元気で過ごしてはいかがでしょうか。

さて、先日の職場体験の際には大変お世話になりました。私たちの質問についてねいにお答えくださりましてありがとうございます。

最後になりましたが、皆様の御健康をお祈りいたします。

敬具

十月一日

松田洋子

小山健様

- 1 差出人が誰かを明確にするため、「松田洋子」は、「十月一日」と同じ高さに書く。
- 2 相手に敬意を示すため、「小山健様」は、「松田洋子」や「十月一日」より高い位置に書く。
- 3 名前の方が重要なので、「松田洋子」と「小山健様」は、「十月一日」より高い位置に書く。
- 4 日付は重要ではない情報なので、「十月一日」は、「松田洋子」や「小山健様」と同じ高さに書く。

(全国) 58.2%

(県) 61.5%

B 2 三 多様な情報に触れながら，自分の考えをもつ

平成24年度小学校調査での正答率は34.9%であったが，今年度調査では22.2%であった。平成24年度では，全国平均とのかい離が-2.8ポイントであったのに対して，平成27年度では-0.8ポイントとかい離は小さくなり，改善傾向が見られた。しかし，正答率が2割程度という状況であり，更なる改善が必要である。

多様な情報に触れながら問題意識をもったり新たな発想を得たりするためには，複数の本や資料から得た情報を自分と結び付けて考えることが重要である。また，自分の考えを深めたり広げたりするためには，学校図書館やインターネット等を利用し，主体的に情報を探すことも必要である。多様な情報を関連付けて読むことの指導に当たっては，新聞等も有効な教材となる。

H 2 4 小国 B 3 四

特集 —マラソン— 第1回 (4月号) 世界のトップランナー

トップランナーの走るスピードは…

42.195kmをいかに速く走りぬけるかを競うマラソン。2011年7月現在，男子の世界記録は，2時間03分59秒で，ハイレ・ゲブレシラシエ選手（エチオピア）がもっている。女子の世界記録は，2時間15分25秒で，ポーラ・ラドクリフ選手（イギリス）がもっている。100mを何秒で走る計算になるかという点，男子が約17.6秒，女子が約19.3秒。この速さで走り続けるのだから，おどろきである。

(マラソンの世界記録上位5人) ▼国際陸上競技連盟の資料を参考にした。(2011年7月現在)

順位	記録	選手の名前	国籍・所属	場所	年
1	2時間03分59秒	ハイレ・ゲブレシラシエ	エチオピア	ベルリン	2008
2	2時間04分27秒	ダンカン・キベト	ケニア	ロッテルダム	2009
3	2時間04分40秒	ジェームズ・クワンハイ	ケニア	ロッテルダム	2009
4	2時間04分48秒	エマヌエル・ムタイ	ケニア	ロンドン	2011
5	2時間04分48秒	パトリック・マカウ	ケニア	ロッテルダム	2010

男子が2時間より短い日は、いったい何分何秒か？

順位	記録	選手の名前	国籍・所属	場所	年
1	2時間15分25秒	ポーラ・ラドクリフ	イギリス	ロンドン	2003
2	2時間16分47秒	キャサリン・ヌデレバ	ケニア	シカゴ	2001
3	2時間18分12秒	野口みずき	日本	ベルリン	2005
4	2時間19分19秒	イリーナ・ミキテンコ	ドイツ	ベルリン	2008
5	2時間19分19秒	メアリー・ケイターニー	ケニア	ロンドン	2011

野口みずき選手の写真

日本人選手の記録

(男子選手) 男子の世界記録をもつのは、高岡寿成選手。2002年のシカゴマラソンで、2時間06分16秒の記録を出した。この記録は、世界第29位にあたる。(2011年7月現在)

(女子選手) 女子の世界記録を上位10人まで見ると、次の選手たちもその中に入る。

- ◆ 渋井陽子選手 → 2時間19分41秒【世界第8位】(2004年 ベルリン)
- ◆ 高橋尚子選手 → 2時間19分46秒【世界第9位】(2001年 ベルリン)

(大募集！読者からの質問) マラソンについての質問をどしどしお寄せください。くわしくは別ページを…

特集 マラソン 第1回

男子マラソンのスタート直後の写真

男子マラソンのスタート直後 (2011年世界陸上競技選手権)

マラソンの距離は、なんと42.195km(42.195キロメートル)です。世界共通である。男子も女子も同じ距離を走る。この距離で行われるマラソンを「フルマラソン」という。世界各地の市民向けの大会などで取り入れられている「ハーフマラソン(21.0975km)なども「マラソン」と呼ぶことがある。

何km(キロメートル)も走るの？

マラソンの距離は、なんと42.195km(42.195キロメートル)です。世界共通である。男子も女子も同じ距離を走る。この距離で行われるマラソンを「フルマラソン」という。世界各地の市民向けの大会などで取り入れられている「ハーフマラソン(21.0975km)なども「マラソン」と呼ぶことがある。

マラソンのはじめは、古くはギリシアの大会に「マラトンの戦い」で勝ったとき、勇ましいギリシア人の一人が、その知らせをアテナまで約40km(キロメートル)走って伝えたという。このことがもとになり、1896年にアテネで開催された第1回オリンピックにおいて、マラソンがアテナの間で競走が行われた。それがマラソンのはじめとされている。

マラソンとアテナを結ぶ地図

(各回の主な内容)

【第1回】(4月号) 世界のトップランナー

- ・何km(キロメートル)走るの？ (15P～20P)
- ・トップランナーの走るスピードは… (16P～20P)
- ・トップランナーの練習法 (17～18P～20P)

【第2回】(5月号) 今、マラソンが人気！ 増える市民ランナーたち

【第3回】(6月号) あなたも長い距離を走ってみよう！

月刊「未来へはばたく小学生」の(一部)

16 未来へはばたく小学生

未来へはばたく小学生 15

(全国) 37.7%
(県) 34.9%

日本の女子選手は、世界的に活やくしてき
たと考えられます。そのように考えた理由は、

日本の男子選手は、

日本の女子選手は、世界的に活やくしてき
たと考えられます。そのように考えた理由は、

日本の男子選手は、

60字 40字

四 金子さんは、日本の女子選手と男子選手のそれぞれについて考えたことをまとめています。「金子さんがまとめた内容」の中からは、どのような内容を書くことよいてすか。あとの条件に合わせ書きましょう。

【金子さんがまとめた内容】

日本の女子選手は、世界的に活やくしてき
たと考えられます。そのように考えた理由は、

日本の男子選手は、

日本の女子選手は、世界的に活やくしてき
たと考えられます。そのように考えた理由は、

日本の男子選手は、

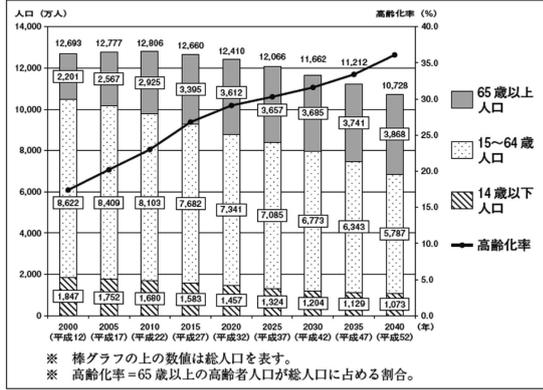
(条件)

○ 「マラソンの世界記録上位5人と日本人選手の記録」の二つの記事を読みながら読み、金子さんの考えの理由となる事実を、両方から取り出したり、まとめたりして書くこと。

○ 「そのように考えた理由は、」に続いて、四十字以上、六十字以内(まとめて書くこと)。

※左の原稿用紙は書き用紙なので、使っても使わなくても構いません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※右の原稿用紙は書き用紙なので、使っても使わなくても構いません。解答は、解答用紙に書きましょう。



〔B〕日本の人口推移を表したグラフ

生活を支援するロボットの開発

世界では、様々なロボットの開発が進められている。例えば、人の移動を支援する搭乗型ロボット。このロボットの中には、10年以上前から実用化されているものもあり、空港でのパトロールなどに使われている。現在、日本では、「生活支援ロボット」の開発が行われている。誰でも簡単に乗り降りでき、日常生活での移動を助ける搭乗型ロボットの開発に加え、装着型ロボットの開発も進んでいる。これは、装着した人の意思を読み取って身体の動きをサポートするロボットである。身体機能の回復のためのリハビリテーションなどで既に一部導入されているが、今後は、足腰の弱った人の歩行支援、重たい荷物の持ち上げ、レスキュー活動など、幅広い場面での活用が期待されている。このように、人間の生活を支援するロボットの開発が、日夜進められているのだ。

搭乗型ロボットの例

装着型ロボットの例

〔C〕雑誌の記事の一部

Discover Tomorrow
～未来(あした)をつかもう～

世界のスポーツ界が急速な変化や様々なチャレンジに直面する中で、東京は「素晴らしい大会を確実に開催し、オリンピックとパラリンピックの価値を次世代に受け継いでいく」ことを訴え、招致の成功を実現することができました。そのメッセージは、世界に約束できる3つの強みによって支えられています。

まず、安心、安全、確実な大会開催。世界有数のインフラやセキュリティを誇る東京の都市力に加え、大会は政府のバックアップを受けて開催されます。数々の国際競技大会開催経験に基づく日本の運営能力も、円滑な大会運営に貢献します。

次に、オリンピック・パラリンピックへの日本の情熱。大都市東京の中心で、多くのファンによって選手に大声が送られる大会は、かつて類を見なかったような素晴らしい祝祭となつて、世界中の人々を熱狂に駆り立てます。

3つめに、イノベーション。最先端都市東京の中心で、日本のテクノロジーや想像力を結集し革新に満ちた大会を開催することで、オリンピック・パラリンピックのインスピレーションを世界中の若者たちへ届けることができます。

また、招致が決定したブエノスアイレスのIOC総会では、日本のプレゼンターが、東日本大震災以降、日本人があらためて気づいたスポーツの真の力についても訴えました。

震災復興に際して、多くのアスリートたちが被災地に足を運んでいます。活動の中で、子供たちがスポーツを通じて少しずつ笑顔になっていく様子を目の当たりにし、私たちはスポーツやアスリートが社会において果たせる役割についてあらためて気づくことができました。2020年の大会開催に向けて、今度はそのスポーツの力を世界に伝えて、社会におけるスポーツの価値向上に貢献する、それが日本の決意です。

(公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ウェブサイトによる。)

〔注1〕 インフラ=インフラストラクチャーの略。道路、鉄道、学校、病院など、社会生活の基盤となる構造物の総称。
〔注2〕 イノベーション=技術革新。これまでとは異なった新しい発展。
〔注3〕 インスピレーション=ここでは、オリンピックやパラリンピックがもたらす刺激のこと。
〔注4〕 IOC総会=国際オリンピック委員会の会議。

〔2〕 次の資料は、「A ウェブページの文章」、「B 日本の人口推移を表したグラフ」、「C 雑誌の記事の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。
〔A ウェブページの文章〕

三 あなたは、二〇二〇年の日本は、どのような社会になっていると予想しますか。また、その社会にどのような関わり方をしたいと思いませんか。あなたの考えを、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

- 条件1 資料「A ウェブページの文章」、「B 日本の人口推移を表したグラフ」、「C 雑誌の記事の一部」の中からいずれか二つを選び(どの資料を選んでもかまいません)、それらの内容を取り上げて具体的に書くこと。
- 条件2 「二〇二〇年の日本は」に続けて、八十文字以上、百二十文字以内で書くこと(解答用紙に書かれている書き出しの字数を含みます)。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

資料の記号

← 選んだ資料の記号を二つ塗り潰しなさい。

○ A ○ B ○ C

二〇二〇年の日本は、

80

120

(全国) 23.0%
(県) 22.2%

(2) 中学校数学

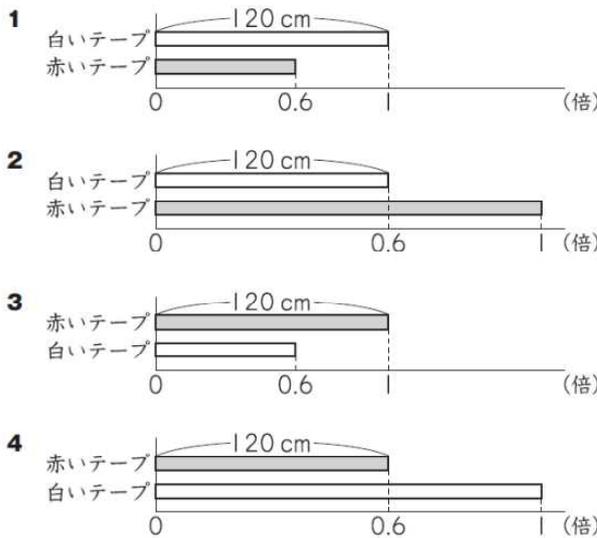
A2(2) 赤いテープの長さが a cm で、白いテープの長さの $\frac{3}{5}$ 倍のとき、白いテープの長さを a を用いた式で表す。

H24 小学校 算数 A 3(2)

赤いテープと白いテープの長さについて、次のことがわかっています。

赤いテープの長さは 120 cm です。
赤いテープの長さは、白いテープの長さの 0.6 倍です。

(1) 赤いテープと白いテープの長さの関係を正しく表している図はどれですか。
次の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。



(2) 白いテープの長さを求める式を書きましょう。
ただし、計算の答えを書く必要はありません。

(全国) 41.1%
(県) 41.6%

平成 24 年度の小学校調査では、「120cmの赤いテープの長さが白いテープの長さの0.6倍に当たるとき、白いテープの長さを求める式を書くこと」をみる問題の正答率は41.6%であった。

これに関連して出題された、平成 27 年度中学校調査の、「赤いテープの長さが a cm で、白いテープの長さの $\frac{3}{5}$ 倍のとき、白いテープの長さを a を用いた式で表すこと」をみる問題の正答率は20.0%であった。

誤答については、「 $\frac{3}{5}a$ (cm)」と解答した生徒が52.5%であった。問題文の中に「倍」という表現が含まれることから、「 $a \times \frac{3}{5}$ (cm)」

と立式した生徒がいると考えられる。また、数量の関係を的確に捉えていないとみられる「 $a - \frac{3}{5}$ (cm)」

や「 $\frac{2}{5}a$ (cm)」という誤答もあった。

事柄や数量の関係を捉え、その関係を文字式に表すことに引き続き課題があると考えられる。

H27 中学校 数学 A 2(2)

赤いテープと白いテープの長さについて、次のことがわかっています。

赤いテープの長さは a cm です。
赤いテープの長さは、白いテープの長さの $\frac{3}{5}$ 倍です。

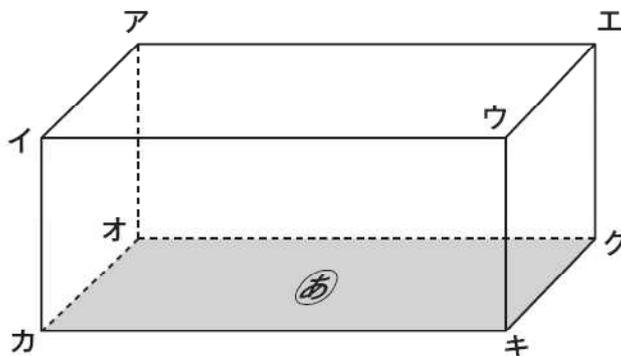
白いテープの長さは何 cm ですか。 a を用いた式で表しなさい。

(全国) 22.2%
(県) 20.0%

A5(1) 直方体において、与えられた辺に垂直な面を書く。

H24 小学校 算数A 6(2)

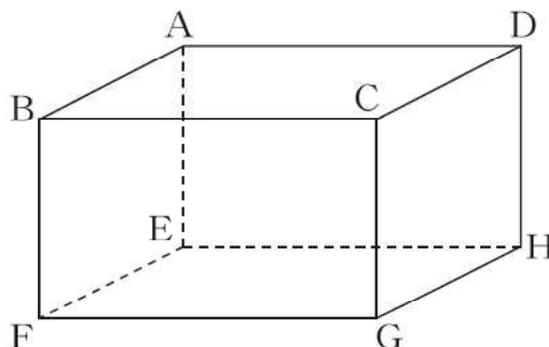
下の直方体には、面^{わいちよく}あに垂直な辺がいくつかあります。
面あに垂直な辺を1つ選んで、書きましょう。



(全国) 64.8%
(県) 65.2%

H27 中学校 数学A 5(1)

下の図の直方体には辺CGに垂直な面がいくつかあります。そのうちの1つを選んで書きなさい。



(全国) 47.4%
(県) 47.9%

平成24年度小学校調査では、「直方体において、与えられた面に垂直な辺を書くこと」をみる問題の正答率は65.2%であった。

これに関連して、平成27年度中学校調査では、「直方体において、与えられた辺に垂直な面を書くこと」をみる問題を出題しており、正答率は47.9%であった。誤答については、辺CGを含む面を解答した生徒が35.3%であった。この中には、直線に垂直な面と直線を含む面を混同した生徒がいるものと推察される。引き続き、空間における直線と平面の垂直についての理解に課題があると考えられる。

また、平成19年度調査（正答率63.5%）及び平成20年度調査（正答率63.0%）でも「直方体において、与えられた面に垂直な辺を書くこと」をみる類題が出題されているが、それよりも平成27年度調査の方が正答率が低いことから、直方体において、与えられた面に垂直な辺を書くことよりも、与えられた辺に垂直な面を書くことに課題があることも読み取れる。

(3) 中学校理科

中理②(3) 考察などを検討して改善する際は、多面的、総合的に思考できるようにする

平成24年度小学校調査で課題が見られた、水の状態変化に関する科学的な言葉や概念を活用する問題である。平成24年度小学校調査の正答率は、才63.2%、力42.4%、キ42.6%であり、全国平均とのかい離は才+1.1ポイント、力0.0ポイント、キ-0.9ポイントであった。平成27年度調査では、正答率が13.3%であり、全国平均を1.2ポイント下回り課題が見られた。

指導に当たっては、天気図や地形の断面図、気温や湿度などの複数の資料を使って、島の上空だけに雲ができる理由を検討して改善する学習場面を設定することが考えられる。その際、状態変化の概念が習得できていないということが考えられるので、水、水蒸気、状態変化、大気圧など関連する知識を整理しておくことが大切である。

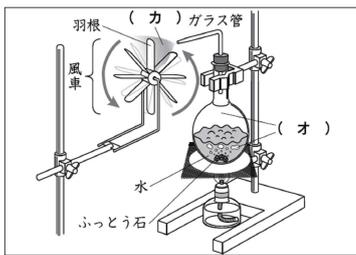
H24 小理3(5)

(5) 太郎さんは、ものを動かす工夫がほかにないか考え、下のような装置をつくり、正子さんに説明しました。



太郎さん

フラスコの中の水をふっとうさせると、水は目に見えない(オ)になります。姿を変えた水が、ガラス管から勢いよく出て羽根に当たると、風車が回ります。羽根に当たっているあたりが白く目に見えるのは、(オ)が空気中で冷やされて、(カ)に変わったからです。



なるほど。風車が回るのは、水が(キ)によって姿を変える性質を利用しているからだね。



正子さん

太郎さんと正子さんの会話の(オ)・(カ)・(キ)の中に当てはまる言葉を、下の□の中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 空気 2 砂けむり 3 温度 4 ふっとう石
5 水蒸気 6 羽根 7 湯気 8 時間

(全国) 才 62.1%
力 42.4%
キ 43.5%

(県) 才 63.2%
力 42.4%
キ 42.6%

H27 中理2(3)

2 若菜さんの学級では、先生が飛行機に乗ったときに撮影した写真や天気図などの資料をもとに気象について学習しました。

(1)から(4)までの各問いに答えなさい。



資料1(S島に関すること)

- 図1は、1月24日に南側から撮影したS島の写真。
- 図2は、S島を撮影したときの天気図。
- 図3は、S島を撮影したときの、風の吹く方向に沿ったS島の断面図。
- 表は、S島の1月23日から1月25日までの1日の平均気温と1日の平均湿度の記録。



図1

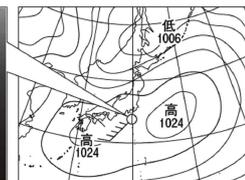


図2

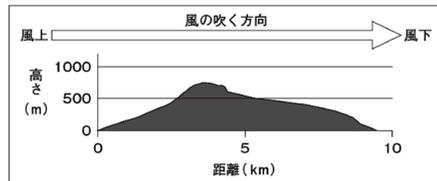


図3

表

月 日	1月23日	1月24日	1月25日
1日の平均気温(℃)	5.9	9.2	12.6
1日の平均湿度(%)	66	71	64

(3) 若菜さんは、S島の上空だけに雲ができることに疑問をもったので、資料1の図2、図3と表をもとに、その理由を下のアからエのように考えました。その理由を見直したところ、誤りに気づきました。誤りのあるものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。また、選んだものを正しく書き直しなさい。

- ア 水蒸気を比較的多くふくんだ空気のかたまりは、S島の山の斜面に沿って上昇する。
- イ 上昇した空気のかたまりが膨張し、温度が下がる。
- ウ 空気のかたまりの温度が、露点に達する。
- エ 水滴が冷やされて水蒸気になり、雲ができる。

(全国) 14.5%

(県) 13.3%

児童生徒質問紙調査結果

1 結果の概要

基本的な生活習慣については、全国と比べて肯定的な回答をしている項目が多い。

家庭で授業の予習・復習をしている小・中学生の割合は、昨年度より増加し、全国値を大きく上回った。

平日の家庭学習の時間は、小学生が全国値より高いものの、中学生は全国値を下回っている。また、休日の家庭学習の時間は、小・中学生とも全国値を下回った。

長時間（3時間以上）携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしている割合、テレビ等を見たりテレビゲームをしたりする小・中学生の割合は、昨年度より減少し全国値を下回った。

授業において始めに目標を明示し、最後に振り返り活動を行うことに関して、全国値には達しないものの、かき離は小さくなり改善が見られる。

2 質問事項別の状況

(1) 学習に対する関心・意欲・態度

「授業のはじめに目標(ねらいめあて)が示されていた」とする割合は、小・中学生はとも昨年度から増加し、中学生の「授業の最後に学習内容を振り返る活動を行った」では、全国値を上回った。

「授業の内容がよく分かる」とする小学生の割合は、国語・算数で昨年度より増加したが、国語で全国値を下回っている。また、中学生では、国語、理科で全国値を上回っている。

国語の授業で文章のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいる中学生の割合は、全国値より高く、自分の考えを理由が分かるように気を付けて書いている小・中学生の割合も全国値を上回っている。

算数・数学の問題が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えることや、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書くことについて、小学生では全国値を下回り、中学生では全国値とほぼ同じである。

理科の授業で「観察や実験の結果からどのようなことが分かったのか考えていますか」という質問に対して小学生では全国値を下回っているが、中学校では上回っている。

新設された「学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたか」という質問については、小・中学生ともに全国値を上回った。

表の下段は全国との比較

質問事項	小学校 (%)								中学校 (%)							
	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19
1 授業のはじめに目標(ねらいめあて)が示されていたと思いますか	84.1	77.5	78.1						78.3	67.7	65.0					
	-2.2	-4.5	-4.4						-1.4	-3.8	-3.1					
2 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	73.6	68.0	73.3						60.2	53.0	52.9					
	-1.7	-3.9	-3.4						+0.9	-0.3	+1.6					
3 国語の授業の内容はよく分かりますか	80.9	78.8	78.4	83.7	82.3	80.1	77.6	78.7	75.8	74.5	74.3	74.7	71.5	70.1	69.6	67.5
	-1.1	-1.3	-1.5	+0.6	+0.0	+0.1	-0.4	+0.7	+1.5	+2.5	+2.4	+3.5	+1.6	+1.3	+2.8	2.1
4 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	80.9	78.2	78.6	79.5	78.0	80.2	79.2	77.9	71.2	71.4	70.5	64.1	64.8	62.4	64.5	61.5
	-0.1	-1.4	-1.6	+0.4	+0.8	+1.0	+0.8	+0.8	-0.4	-0.1	+0.0	-0.8	-0.9	-2.5	-1.0	-2.1
5 理科の授業の内容はよく分かりますか	87.1			86.2					69.3			64.1				
	-0.8			+0.2					+2.5			-0.8				
6 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	76.8	74.8	72.4	74.9	74.9	70.6	71.7		73.1	70.6	67.7	68.5	66.7	63.3	65.6	
	-0.4	-1.0	-0.9	-0.2	+1.5	-0.2	-0.2		+2.5	+3.1	+3.2	+2.9	+3.0	+2.6	4.1	
7 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	73.9	71.6	68.9	72.0	72.8	66.7	67.2		71.6	65.2	66.5	63.3	62.1	58.6	61.4	
	+1.2	+0.9	+0.0	+0.7	+3.6	+0.5	0.1		+5.9	+4.9	+6.1	+3.9	+4.4	+3.5	5.9	
8 算数・数学の問題の解き方が分からないときはあきらめずにいろいろな方法を考えますか	78.5	77.0	75.4	78.1	77.4	77.6	76.2	75.0	70.7	70.5	68.2	65.7	68.7	64.9	64.7	63.6
	-1.1	-1.1	-2.0	-1.0	+0.1	+0.8	+0.2	+0.3	+0.9	+0.2	+0.9	-0.3	+1.6	+0.1	+1.1	0.6
9 算数・数学の授業で、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	82.3	82.0	81.0	81.1	79.4	77.6	80.3		80.0	80.2	80.6	76.8	78.9	76.8	78.3	
	-1.5	-1.4	-1.5	-1.5	-1.4	-1.9	-1.1		+0.4	+0.2	+0.8	-0.5	+0.7	+0.0	+1.3	
10 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	79.5			76.8					74.6			61.7				
	-0.9			+0.3					+7.4			+5.2				
11 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方がまちがっていないかを振り返って考えますか	67.9			65.9					61.9			54.2				
	+0.8			+0.7					+6.9			+4.4				
12 学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	75.5								68.4							
	+1.3								+2.7							

(2) 基本的な生活習慣、家庭でのコミュニケーション、社会への関心等

○ 小・中学生ともに、基本的な生活習慣に関する質問では全国値を上回っている項目が多い。

家の人と学校での出来事について話をしている小学生の割合は昨年度より減少したが、中学生は増加し、全国値を上回っている。

住んでいる地域の行事に参加している小・中学生の割合は、全国値を上回っている。

新聞を読む小学生の割合は全国値より低い。また、テレビ等のニュースを見る中学生の割合は全国値より高い。

	質問事項	小学校 (%)									中学校 (%)								
		H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19		
1	朝食を毎日食べていますか	96.3	96.8	96.7	96.6	97.4	96.6	96.3	96.2	94.6	94.6	94.7	94.4	94.5	94.0	93.6	93.3		
		+0.7	+0.8	+0.4	+0.5	+1.0	+0.6	+0.9	+1.0	+1.1	+1.1	+0.9	+0.8	+1.2	+1.6	+1.7	+1.7		
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	82.7	81.7	80.6	79.0	77.4	75.4	73.2	73.5	79.3	77.5	78.0	76.2	74.8	72.5	71.5	70.1		
		+3.2	+2.5	+1.7	+1.6	+1.9	+0.3	+0.5	+1.6	+4.1	+3.4	+3.7	+2.2	+3.8	+3.1	+3.3	+3.2		
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.3	+90.9	+90.4	+90.0	+90.1	+89.3	+88.2	+88.7	92.7	92.9	92.6	92.4	92.5	91.8	91.3	89.9		
		+0.3	+0.0	-0.5	-0.6	-0.2	-0.9	-0.8	+0.2	+0.6	+0.8	+0.3	+0.5	+1.3	+0.9	+0.9	+1.0		
4	家の人と学校での出来事について話をしていますか	80.0	81.5	77.8	77.6	77.0	71.0	70.9	70.0	76.3	74.2	67.6	66.7	65.1	61.1	60.0	60.0		
		+0.5	+1.1	+1.3	+1.7	+2.8	+0.1	+1.7	+1.6	+2.6	+1.6	+1.0	+1.0	+1.4	+1.3	+2.1	+2.2		
5	今住んでいる地域の行事に参加していますか	75.8	76.0	73.1	73.2	74.4	73.0	71.6	72.6	46.4	44.2	41.3	37.9	39.5	40.9	39.8	39.7		
		+8.9	+8.0	+9.2	+10.0	+12.8	+10.6	+11.7	+10.6	+1.6	+0.7	-0.3	+0.2	+5.2	+3.1	+2.8	+2.2		
6	新聞を読んでいますか	20.7	24.4	27.2						19.7	21.8	27.5							
		-3.0	-2.7	-4.5						+0.9	+0.7	+2.2							
7	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか	83.1	84.9	84.0						85.0	84.4	86.9							
		-0.6	+0.2	-0.5						+1.1	+2.3	+2.3							

(3) 学習時間等

家で授業の予習、復習をしている割合は、小・中学生ともに昨年度よりもさらに増加し、全国値を大きく上回っている。

平日の家庭学習の時間が短い小学生の割合がやや増えており、中学生では2時間以上勉強する生徒の割合は全国値を下回っている。土日など休日の1日当たりの勉強時間(小学生で2時間以上、中学生で3時間以上)の割合も小・中学生ともに全国値より低い。

小・中学生ともに、3時間以上テレビ等を見たり、テレビゲームをしたりする小・中学生の割合は、昨年度より減少し、全国値を下回った。携帯電話やスマートフォンを使って通話やメール、インターネットをする時間が3時間を超える小・中学生の割合も昨年度より減少し、全国値を下回っている。

	質問事項	小学校 (%)									中学校 (%)								
		H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19		
1	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	68.1	65.7	61.3	61.1	64.7	55.5	51.5		53.7	50.4	48.5	45.6	44.3	40.1	35.8			
		+5.3	+4.7	+2.4	+3.1	+6.4	+0.8	-0.5		+4.9	+3.8	+4.0	+2.7	+2.5	+2.2	+1.6			
2	家で学校の授業の予習をしていますか	50.5	50.2	47.6	45.6	48.6	42.6	39.1	36.6	50.0	46.7	48.3	39.3	43.9	42.1	41.0	39.3		
		+7.1	+7.0	+6.3	+5.1	+8.2	+5.1	+3.7	+3.7	+14.7	+12.5	+14.8	+10.0	+13.0	+12.6	+12.6	+9.8		
3	家で学校の授業の復習をしていますか	67.0	66.1	61.9	59.9	61.2	54.9	50.8	45.8	65.4	63.0	60.8	56.8	54.4	49.7	48.4	45.8		
		+12.5	+12.1	+10.5	+9.7	+11.6	+8.9	+7.4	+5.7	+13.4	+12.6	+12.2	+11.3	+10.9	+9.2	+8.8	+6.6		
4	普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか	30分以上	91.1	90.6	90.1	89.1	88.7	86.1	83.5	83.5	86.0	85.9	85.4	84.7	83.1	81.7	81.4	78.6	
			+3.3	+3.4	+2.4	+3.5	+3.9	+2.5	+1.1	-0.4	+0.0	+0.7	+0.2	+1.4	+0.0	-0.2	-0.7	-2.6	
		1時間以上	64.8	64.1	64.8	61.2	61.5	56.9	52.9	53.8	67	66.1	66.4	65.8	63.7	62.2	63.1	59.9	
			+1.9	+2.1	+1.6	+1.7	+3.3	-0.3	-3.2	-4.1	-2.0	-1.8	-2.2	-0.6	-2.5	-3.1	-2.3	-5.1	
		2時間以上	20.1	21.4	22.0	21.3	20.8	19.7	18.8	18.3	29.7	29.6	30.7	30.0	28.5	29.1	29.8	27.4	
		-5.6	-4.4	-5.1	-4.3	-4.9	-6.0	-6.7	-7.2	-6.0	-5.5	-5.8	-5.3	-7.2	-6.6	-5.9	-8.0		
	3時間以上	6.1	6.8	7.0	7.0	6.8	6.3	6.1	5.6	6.8	6.9	7.1	6.6	6.3	6.6	7.0	6.2		
		-5.0	-4.4	-4.5	-4.1	-4.6	-5.3	-5.3	-5.3	-3.6	-3.5	-3.4	-3.3	-3.9	-3.6	-3.2	-3.5		
5	土日など学校が休みの日に1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか(小学生2時間以上、中学生3時間以上)	21.2	22.0	20.9	19.5	20.5	17.9	16.3	15.4	16.6	15.6	15.5	15.0	12.9	13.5	13.6	11.8		
		-3.3	-2.0	-4.3	-4.3	-3.0	-4.9	-6.4	-7.6	-1.1	-1.3	-1.7	-1.2	-2.9	-1.9	-1.5	-3.1		
6	普段1日にどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見ますか(3時間以上)	35.6	39.6	41.9	47.8	47.2	51.1	51.7	38.0	27.0	30.3	29.7	33.3	38.1	40.4	43.0	35.9		
		-0.5	+1.6	+3.3	+5.1	+3.9	+5.4	+5.6	+3.7	-3.5	-1.2	+0.0	+0.8	+1.6	+2.4	+3.4	+2.8		
7	普段1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム含む)をしますか(3時間以上)	15.9	17.4	16.1	13.7	12.6	13.0	14.0	9.8	18.6	19.8	14.3	10.5	10.2	10.5	10.4	10.5		
		-1.1	+0.4	+1.2	+1.1	+1.3	+1.4	+2.1	+0.9	-1.9	-0.5	+0.0	-0.9	-0.6	+0.1	-0.1	-0.2		
8	普段1日にどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(3時間以上)	4.6	4.8							15.5	18.8								
		-1.1	-0.2							-2.7	-1.0								

(4) 自尊意識・規範意識

「自分にはよいところがある」「人の役に立つ人間になりたい」とする小・中学生の割合は全国値を下回っている。

「ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある」とする小・中学生の割合は、ともに全国値とほぼ同じである。

「夢や目標を持っている」とする小・中学生の割合は、ともに全国値をやや上回っている。

「学校のきまりを守っているか」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うか」という規範意識に関する質問について肯定的な回答をした割合は、小・中学生ともに全国値に届いていない。

	質問事項	小学校 (%)									中学校 (%)								
		H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19		
1	自分には、よいところがあると思う	72.5	74.0	72.2	76.4	73.6	72.9	71.4	68.6	66.2	65.3	65.6	67.7	63.8	61.6	61.8	59.8		
		-3.9	-2.1	-3.5	-0.4	-0.8	-1.7	-2.0	-2.9	-1.9	-1.8	-0.8	-0.5	+0.7	+0.4	+1.0	-0.7		
2	ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがありますか	93.6	93.8	93.4	94.8	94.5	93.8	93.2	93.2	93.8	94.2	93.7	93.4	93.6	92.9	92.9	92.4		
		-0.9	-0.6	-0.9	+0.3	+0.4	+0.0	+0.3	+0.1	-0.4	+0.3	+0.0	+0.2	+0.9	+1.0	+1.0	+0.4		
3	将来の夢や目標を持っていますか	87.5	86.6	86.4	86.5	86.5	85.6	84.0	83.6	72.4	72.5	73.7	73.8	72.6	71.3	72.0	72.2		
		+1.0	-0.1	-1.3	-0.2	-0.3	-0.7	-0.7	-0.1	+0.7	+1.1	+0.2	+0.6	+0.9	+0.3	+1.3	+1.5		
4	学校のきまり(規則)を守っていますか	90.0	89.9	89.6	91.2	89.4	87.6	85.7	85.2	93.9	92.5	92.2	91.2	90.5	89.3	88.0	86.0		
		-1.1	-0.6	-1.0	-0.1	+0.2	-0.9	-0.6	-1.0	-0.5	-0.5	-0.3	-1.1	+0.4	+0.7	+0.6	+0.3		
5	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	91.6	93.1	91.4	94.1	91.6	90.5	91.6	90.4	94.0	94.4	93.8	94.9	92.3	91.9	92.7	91.8		
		-2.3	-1.3	-1.6	+0.0	-0.4	-0.9	-0.3	-0.6	-0.9	-0.9	-0.4	+0.0	-0.4	+0.0	+0.2	+0.0		
6	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	95.6	95.7	95	95.3	94.3	95.1	95.0	94.7	92.6	92.5	92.8	92.9	90.8	90.7	89.8	87.8		
		-0.6	-0.7	-0.9	-0.1	-0.7	+0.2	+0.3	+0.0	-1.1	-0.9	-0.7	-0.1	-0.3	+0.4	+0.3	-0.1		
7	人の役に立つ人間になりたいと思う	91.4	92.3	91.7	94.7	92.5	91.8	92.0	91.4	92.6	92.8	92.6	93.7	91.5	90.4	90.6	89.4		
		-2.3	-1.7	-1.9	+0.0	-0.9	-0.7	-0.4	-0.5	-1.1	-1.2	-0.7	-0.2	-0.6	+0.0	+0.1	-0.2		

学校質問紙調査結果

1 結果の概要

将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導に取り組んでいる学校の割合は、小・中学校ともに高く、特に小学校では全国値を大きく上回っている。

「全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行った」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに昨年度よりも増加しており、全国値よりも高い。

「全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行った（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む）」と回答した学校の割合は、小学校で昨年度より増加しており、小・中学校ともに全国値よりも高い。

教科の指導内容や指導方法について近隣の中学校と連携（教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など）を行っている小学校の割合は、昨年度より増加したものの、全国値を大きく下回っている。また、近隣の小学校と連携している中学校の割合も、全国値を大きく下回っている。

理科の指導において、長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習を与えた小学校の割合は、全国値を大きく下回っている。

学校でテーマを決め、講師を招聘するなどして校内研修を行っている割合は、小・中学校ともに全国値より低く、特に中学校で差が大きい。

2 質問事項別の状況

(1) 指導方法・学習規律

将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導に取り組んでいる学校の割合は、特に小学校で全国値を大きく上回っている。

授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れている学校の割合は、小・中学校で増加しており、ともに全国値を上回っている。

授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れている学校の割合は、小学校で全国値より低く、中学校で全国値と同程度である。

表の下段は全国との比較（以下同じ）

質問事項	小学校 (%)								中学校 (%)							
	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19
1 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしたか。	84.0	86.6	78.6	77.6	72.3	68.1	62.1		96.6	96.0	99.0	97.3	94.1	96.8	95.9	
	+11.6	+14.6	+7.1	+6.3	+1.7	-1.4	-4.1		+0.2	+1.8	+4.5	+2.0	-2.1	+0.9	+0.0	
2 授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れているか。	98.7	95.2	96.1						97.5	94.1	95.4					
	+0.6	-1.7	-0.4						+1.8	+0.1	+2.8					
3 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れているか。	91.8	91.6	91.4						91.2	91.6	90.9					
	-2.1	0	-0.6						+0.3	+2.4	+2.8					

(2) 調査結果の活用

自校の結果を分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行った学校の割合は、小・中学校ともに昨年度より増加しており、全国値よりも高い。

自校の結果について、保護者や地域の人たちに公表や説明を行った学校の割合は、小・中学校ともに全国値よりも高い。

本調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに働きかけを行った学校の割合は、小・中学校ともに増加しており全国値よりも高い。

質問事項	小学校 (%)								中学校 (%)							
	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19
1 全国学調の結果を地方公共団体独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っているか。	95.9	81.2							94.1	80.2						
	+4.0	-7.7							+6.2	-4.3						
2 全国学調の自校の結果について保護者や地域の人たちに公表や説明を行ったか。	97.5	94.4							93.2	93.6						
	+9.5	+13.3							+9.3	+18.0						
3 全国学調や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上等の取組について、保護者や地域の人たちに働きかけたか。	95.9	93.4							91.2	90.1						
	+8.5	+8.4							+10.7	+12.9						

(3) 学力向上に向けた取組

放課後を利用した補足的な学習サポートを実施した学校の割合は、小学校では全国値を大きく上回っているが、中学校では全国値より低い。

長期休業期間を利用した補足的な学習サポートを実施した学校の割合は、小学校では増加し、全国値よりも高いが、中学校では全国値より低い。

質問事項	小学校 (%)								中学校 (%)							
	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19
1 放課後を利用した補足的な学習サポートを実施したか。	71.8	76.4	74.0	70.2	78.5	76.8	58.6	61.0	79.8	88.5	88.9	85.2	84.0	85.9	63.6	61.8
	+13.7	+14.1	+12.3	+8.4	+16.5	+15.9	+16.7	+20.1	-0.9	+1.7	+2.9	-1.5	-1.5	+2.7	+6.4	+6.4
2 長期休業日を利用した補足的な学習サポートを実施したか。	67.9	62.1	61.8	53.3	53.5	46.6	43.0	41.2	73.5	74.3	74.7	74.5	73.7	68.6	70.0	68.9
	+5.1	-4.0	-3.2	-10.1	-5.1	-10.3	-7.0	-6.6	-6.3	-10.0	-9.4	-9.6	-6.7	-11.6	-7.0	-6.1

(4) 国語科、算数・数学科、理科の指導方法

国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った学校の割合は、小学校で増加し、小・中学校ともに全国値より高い。

国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った学校の割合は、小学校で増加し、全国値と同程度だが、中学校では全国値より低い。

算数・数学の指導として、補充的な学習・発展的な学習の指導を行った中学校の割合は、全国値より低い。

理科の指導として、補充的な学習の指導を行った割合は、中学校で全国値よりも高く、小学校で全国値より低い。また、発展的な学習の指導を行った割合は、小・中学校ともに全国値より低い。

質問事項	小学校 (%)									中学校 (%)								
	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19		
1 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行ったか。	94.4 +2.5	93.2 +2.6	89.1 -0.8	94.0 +4.2	91.6 +2.2	88.3 -0.8	90.1 +2.7	82.2 -1.2	96.5 +2.0	96.5 +2.9	96.0 +3.8	94.9 +3.3	94.2 +3.1	95.0 +4.1	89.5 -0.3	85.8 -1.9		
2 国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行ったか。	85.3 +0.7	82.2 -1.0	86 +2.3	89.5 +6.6	85.4 +2.4	85.5 +2.2	87.4 +4.5	82.6 +2.3	83.3 -3.4	84.7 -1.4	78.3 -5.9	84.6 +0.7	84.9 +0.2	85.9 +3.2	81.4 -1.7	84.4 +2.3		
3 国語の指導として、補充的な学習の指導を行ったか。	70.8 -3.0	71.9 +1.0	67.0 -0.8	66.6 -1.2	68.1 -1.5	72.7 +4.3	72.7 +1.0	68.9 +3.9	83.4 +5.2	83.4 +3.4	72.3 -1.1	82.0 +7.3	77.2 +2.6	81.3 +7.2	78.7 +4.2	73.7 +3.6		
4 国語の指導として、発展的な学習の指導を行ったか。	41.2 -3.4	38.5 -2.2	33.2 -4.4	35.6 -3.2	41.8 +2.7	38.3 -0.9	36.5 -1.2	33.0 -0.4	59.8 -1.0	54.4 -1.6	54.1 +0.4	59.4 +5.3	57.7 +5.3	55.9 +5.0	55.5 +6.9	53.8 +7.3		
5 算数・数学の指導として、補充的な学習の指導を行ったか。	92.6 +0.8	89.8 +0.3	87.4 +0.1	87.4 +3.6	91.9 +1.8	89.6 +1.8	93.1 +3.1	88.8 +1.0	87.3 -1.8	88.1 +0.5	88.9 +2.9	87.3 +0.3	89.0 +2.4	88.2 +2.1	91.8 +3.0	91.2 +4.5		
6 算数・数学の指導として、発展的な学習の指導を行ったか。	61.6 0.0	54.4 -3.9	54.7 +0.3	55.0 +1.1	58.4 +4.5	55.4 +0.9	59.2 +1.4	56.4 -1.9	61.2 -4.2	59.4 -1.9	52.5 -5.8	53.9 -4.6	52.6 -4.1	60.0 +4.5	55.9 -3.2	55.1 +4.6		
7 理科の指導として、補充的な学習の指導を行ったか。	50.4 -5.4			43.7 -6.9					84.3 +5.5				77.6 +1.5					
8 理科の指導として、発展的な学習の指導を行ったか。	41.0 -6.2			33.4 -8.8					59.3 -3.2			60.2 +3.5						

(5) 家庭学習・家庭との連携

生徒の保護者に対して、生徒の家庭学習を促す働きかけをした学校の割合は、小・中学校ともに昨年度を下回り、中学校で全国値より低い。

家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った学校の割合は、小学校で全国値より高く、中学校で全国値より低い。

家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりする宿題を与えた学校の割合は、小・中学校ともに全国値より高い。経年比較においては、中学校で大きく増加している。

家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた学校の割合は、小・中学校ともに全国値より高い。

児童・生徒に対する理科の指導として、長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習の課題を与えた学校の割合は、小・中学校ともに全国値を大きく下回っており、特に小学校で顕著である。

質問事項	小学校 (%)									中学校 (%)								
	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19		
1 生徒の保護者に対して、生徒の家庭学習を促す働きかけをしましたか。	97.7 +1.2	98.8 +2.9							81.8 -2.1	90.1 +4.7								
2 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図ったか。	92.1 +5.0	93.6 +8.2							75.5 -3.0	76.2 -0.7								
3 家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりする宿題を与えたか。	82.2 +2.7	82.2 +4.4	74.6 -0.5	75.5 +0.8					73.1 +7.0	68.8 +4.6	58.6 -0.7	61.3 +1.4						
4 家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えたか。	93.9 +4.1	95.4 +7.2	93.1 +2.2	93.2 +3.0					90.2 +4.5	91.1 +6.3	91.9 +4.8	88.4 +1.8						
5 児童・生徒に対する理科の指導として、長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習を与えましたか。	52.9 -31.4			57.7 -2.6					74.0 -7.2			71.1 -9.3						

(6) 言語活動の充実

児童・生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れている学校の割合は、小・中学校ともに全国値より高い。

学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている学校の割合は、小学校で減少し全国値より低く、中学校で全国値より高い。

質問事項	小学校 (%)									中学校 (%)								
	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19		
1 授業において、児童・生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れている。	73.8 +0.8								66.1 +2.8									
2 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり検討したりしている。	81.9 -6.7	86.1 -2.1							81.4 +3.8	80.2 +4.3								

(7) 教員研修・教職員の取組、学校種間の連携

学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている学校の割合は、小・中学校ともに全国値を大きく下回っている。

教科の指導内容や指導方法について近隣の小・中学校と連携を行っている学校は、小・中学校ともに全国値を大きく下回っている。

質問事項	小学校 (%)									中学校 (%)								
	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H27	H26	H25	H24	H22	H21	H20	H19		
1 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っているか。	78.4 -14.9	77.5 -15.0	77.6 -15.1	78.1 -13.9	78.4 -13.8	73.7 -18.2	75.0 -17.1	70.1 -10.1	65.2 -20.6	71.8 -13.0	65.2 -19.2	66.6 -17.3	71.1 -11.3	66.4 -16.2	59.0 -23.9	63.6 -19.5		
2 教科の指導内容や指導方法について近隣の小学校・中学校と連携を行ったか。	55.7 -11.0	49.3 -13.1	53.7 -15.5	69.4 -8.1					58.3 -17.2	63.9 -8.2	51.5 -18.0	59.8 -18.4						

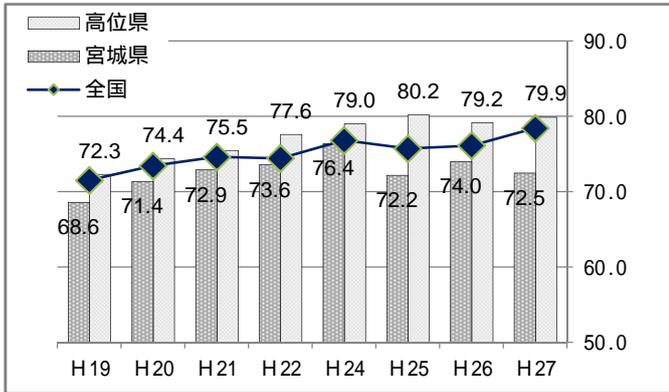
平均正答率の高い県との比較

宮城県全体の課題をより明確に把握したいと考え、児童生徒質問紙調査において、自尊意識、将来の夢や目標、基本的な生活習慣、学習習慣、教科への取組や関心・意欲・態度に関する特徴の見られた13項目について、平均正答率の高い県（以下、高位県）と比較した。また、学校質問紙調査において、地域人材・施設の活用について、平均正答率の高い県（以下、高位県）と比較した。

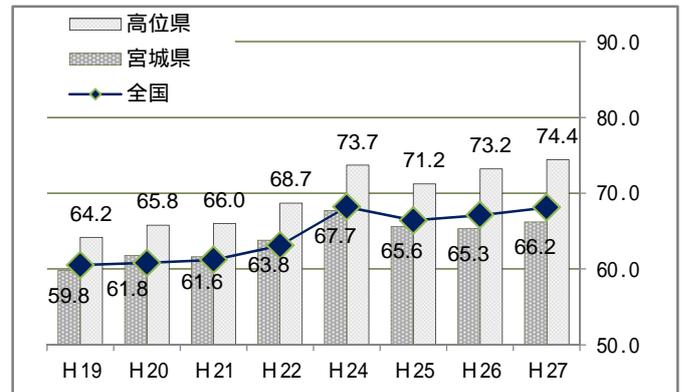
(1) 自尊意識、将来の夢や目標に関する質問事項の比較結果（児童生徒質問紙調査）

自分にはよいところがあると思いますか。

【小学校】

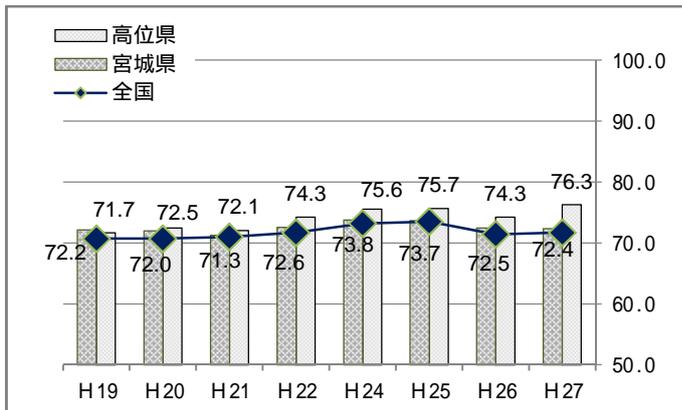
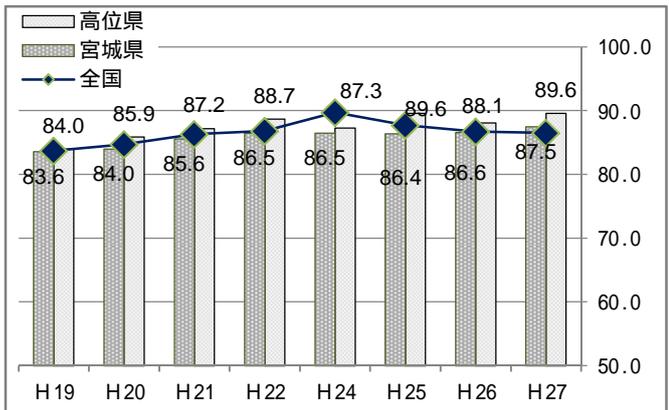


【中学校】



・小・中学生ともに全国値及び高位県より低い。

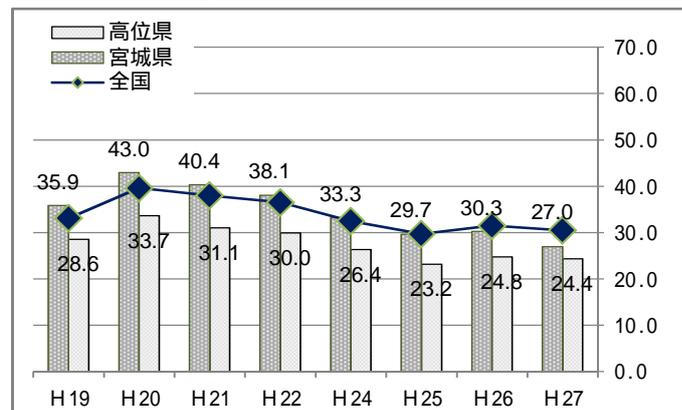
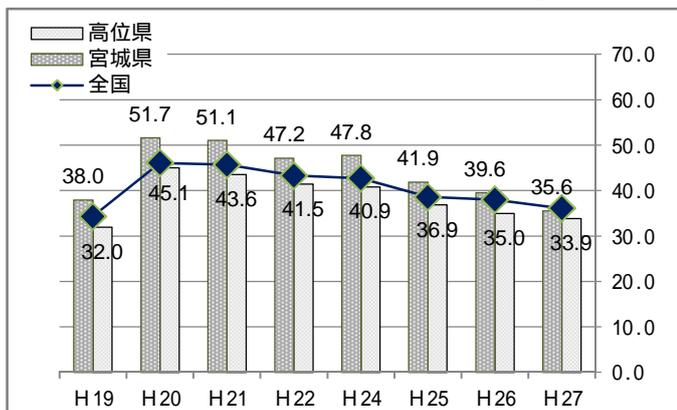
将来の夢や目標を持っていますか。



・小学生は全国値より高いが、高位県より低い。
 ・中学生は全国値とほぼ同じで、高位県より低い。

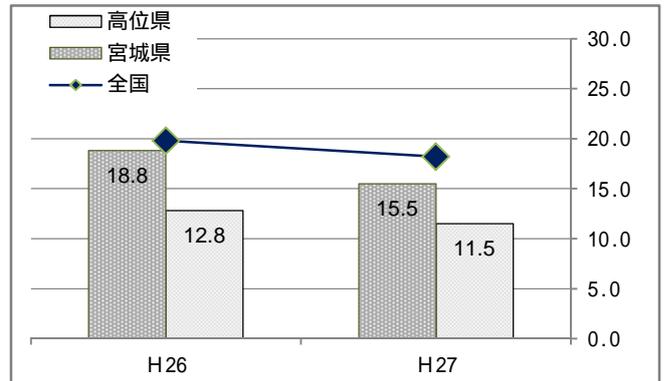
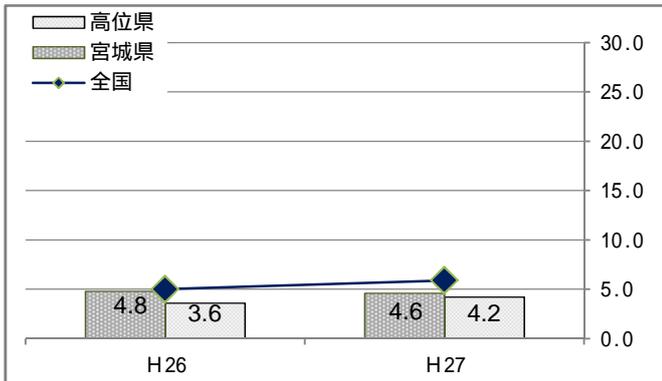
(2) 基本的な生活習慣に関する質問事項の比較結果（児童生徒質問紙調査）

1日何時間、テレビ等を見ますか。（3時間以上と回答した割合）



・小学生は全国値とほぼ同じで、高位県より高い。
 ・中学生は全国値より低いですが、高位県より高い。

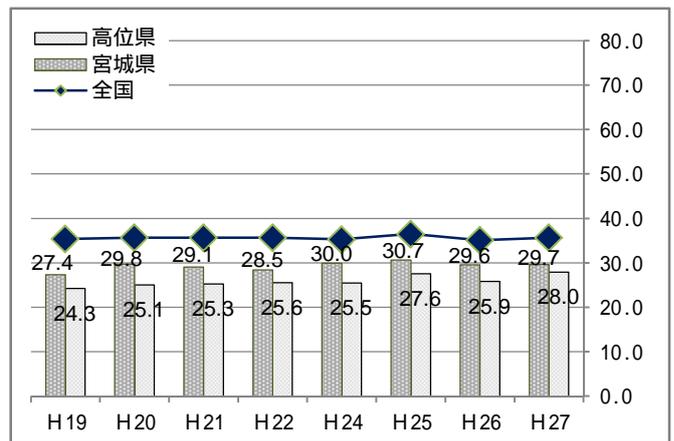
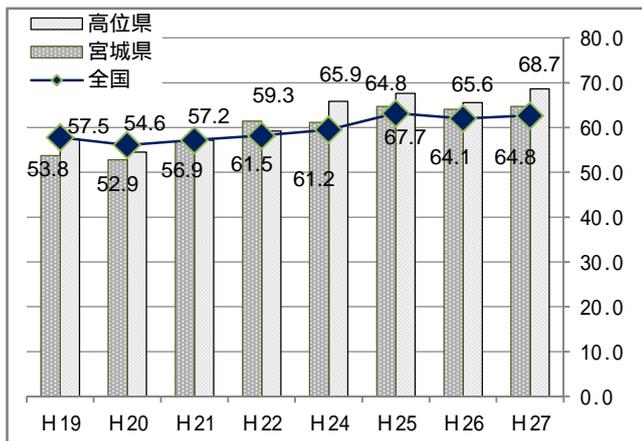
1日何時間、スマートフォン等で通話やメール、インターネットをしますか。(3時間以上と回答した割合)
【小学校】 **【中学校】**



- ・小・中学生ともに全国値より低い。
- ・小学生は高位県とほぼ同じで、中学生は高位県より高いが高位県とのかい離は小さくなっている。

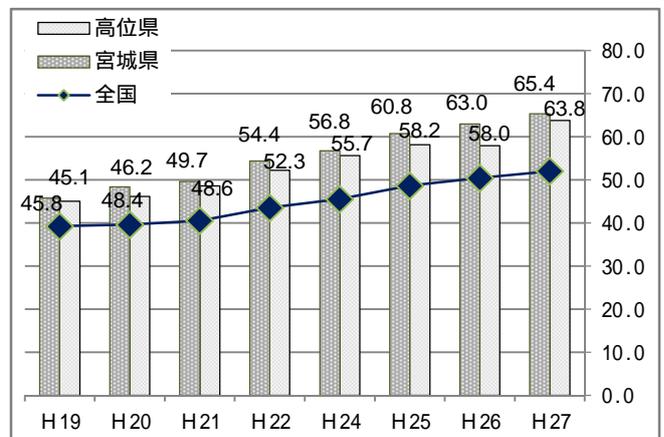
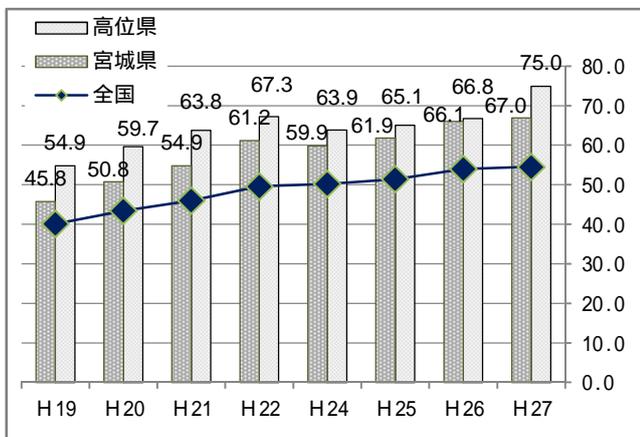
(3) 学習習慣に関する質問事項の比較結果(児童生徒質問紙調査)

普段何時間くらい勉強しますか。(小学校：1時間以上、中学校：2時間以上)



- ・小学生は全国値より高いが、高位県より低い。
- ・中学生は全国値より低いが、高位県より高く、この傾向が続いている。

家で学校の授業の復習をしていますか。

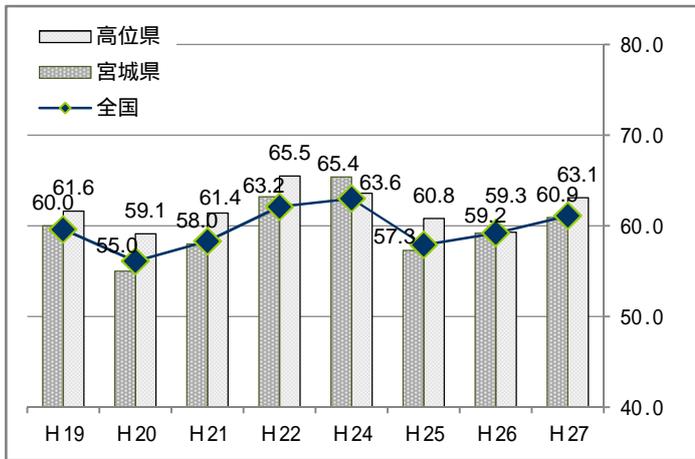


- ・小・中学生ともに全国値を大きく上回っている。
- ・小学生は高位県より低い、中学生は高位県より高く、この傾向が続いている。特に中学校では増加傾向が見られる。

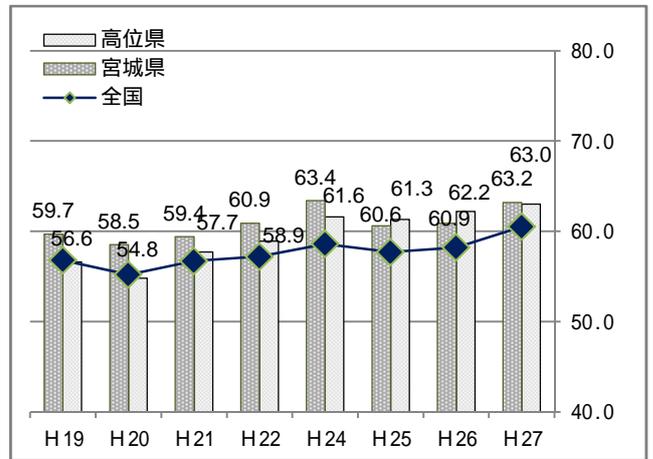
(4) 教科への取組や関心・意欲・態度に関する質問事項の比較結果(児童生徒質問紙調査)

国語の勉強は好きですか。

【小学校】

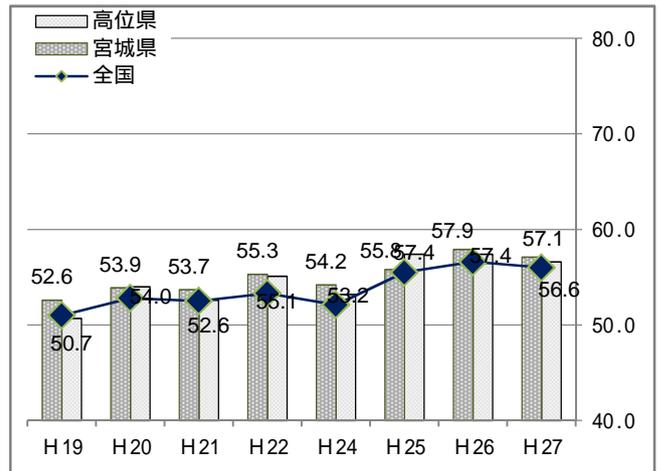
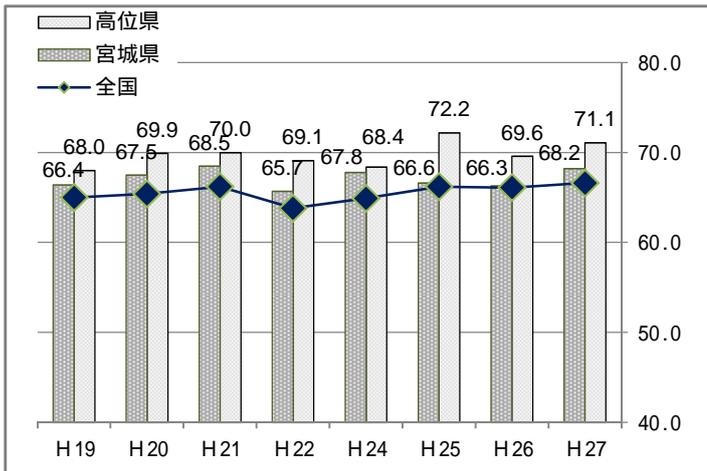


【中学校】



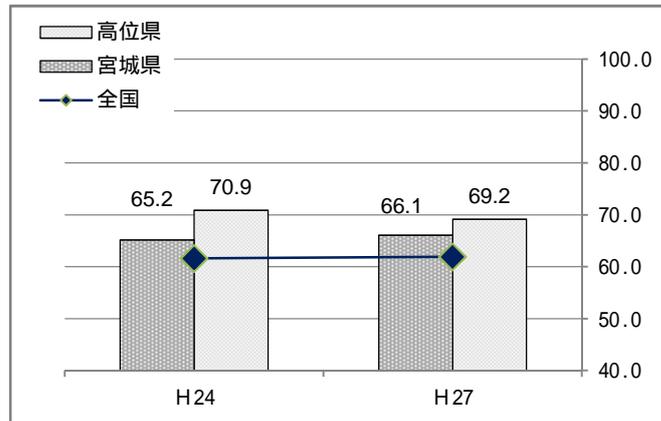
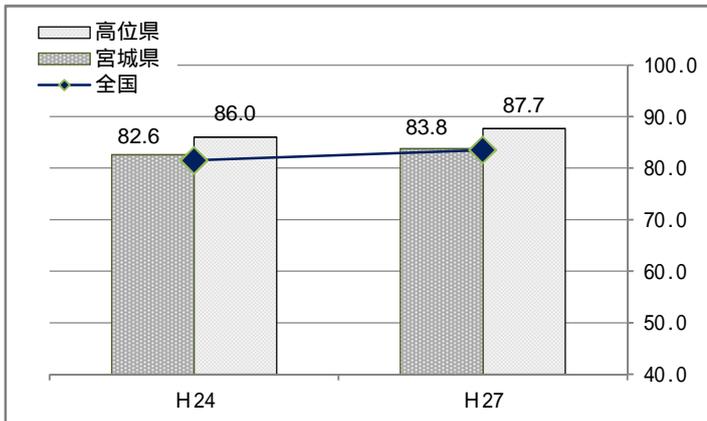
- ・小学生は全国値とほぼ同じで、高位県より低い。
- ・中学生は全国値より高く、高位県とほぼ同じである。

算数・数学の勉強は好きですか。



- ・小学生は全国値より高いが、高位県より低い。
- ・中学生は全国値より高く、高位県とほぼ同じである。

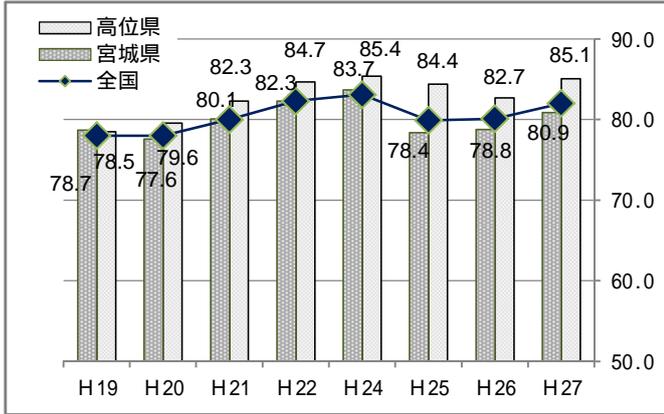
理科の勉強は好きですか。



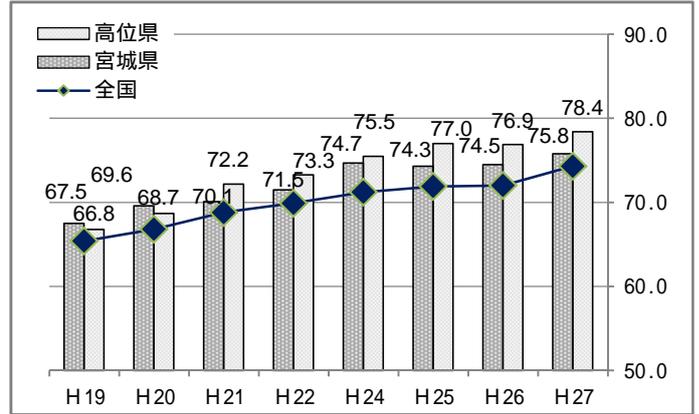
- ・小学生は全国値とほぼ同じで、高位県より低い。
- ・中学生は全国値より高いが、高位県より低い。

国語の授業の内容はよく分かりますか。

【小学校】

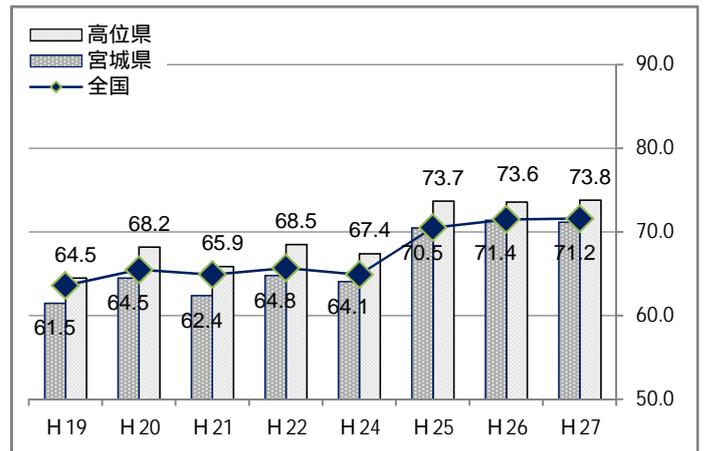
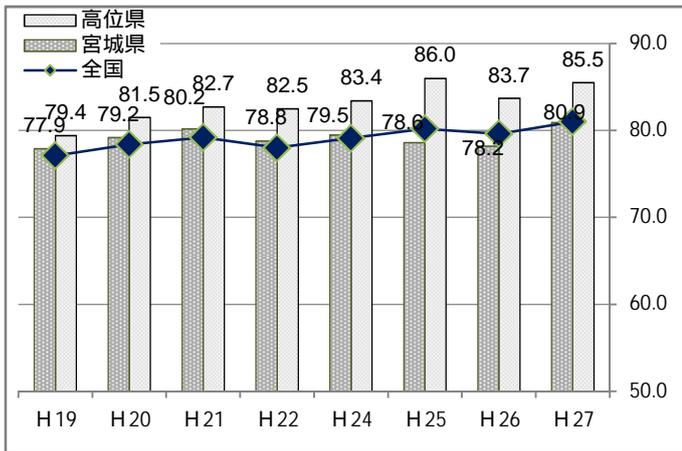


【中学校】



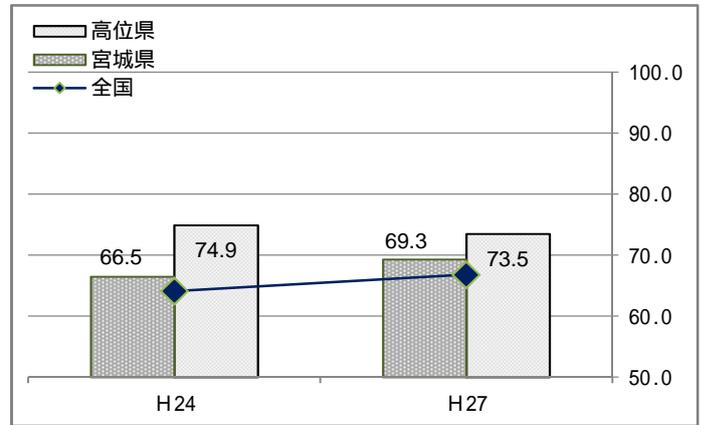
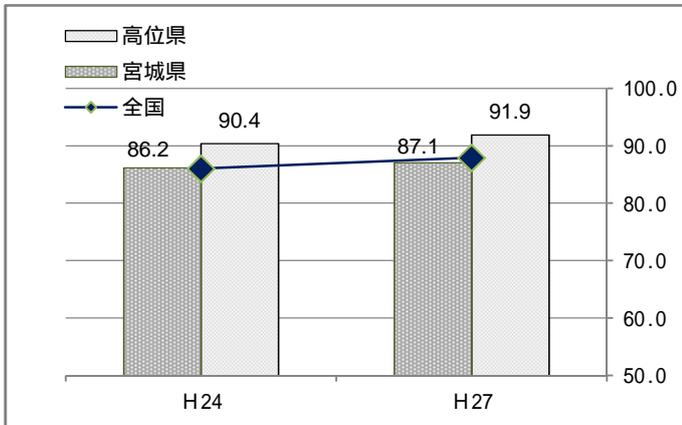
- ・小学生は全国値及び高位県より低い。
- ・中学生は全国値より高いが、高位県より低い。

算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。



- ・小・中学生ともに全国値とほぼ同じだが、高位県より低い。

理科の授業の内容はよく分かりますか。



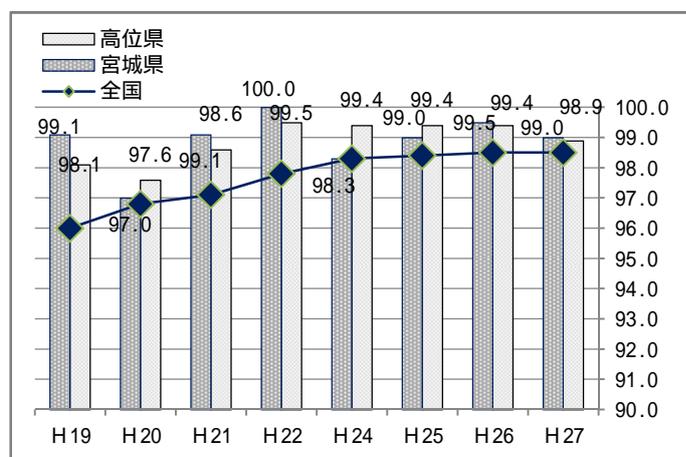
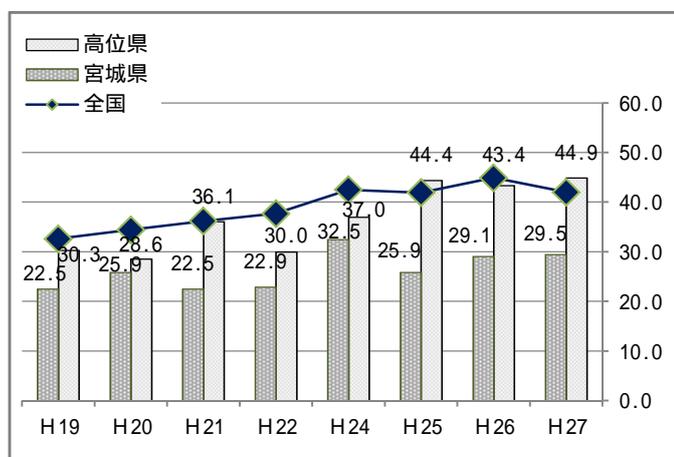
- ・小学生は全国値とほぼ同じだが、高位県より低い。
- ・中学生は全国値より高いが、高位県より低い。

(5) 地域人材・施設の活用に関する質問事項の比較結果 (学校質問紙調査)

職場見学や職場体験活動を行っていますか。

【小学校】

【中学校】



- ・ 小学校は全国値及び高位県を大きく下回っている。
- ・ 中学校は全国値及び高位県とほぼ同じである。

(6) 高位県との比較から見てきた宮城県全体の状況

本県児童生徒の自尊意識は、高位県と比較して小・中学生ともに低い。また、小・中学生ともに全国値より低い。

将来の夢や目標を持っている本県児童生徒の割合は、高位県と比較すると小・中学生ともに低い。

3時間以上テレビやビデオ・DVDを見る児童生徒の割合は、高位県、全国、本県ともに減少傾向にあるものの、本県児童生徒の割合は高位県に比べて高い。また、3時間以上通話やメール、インターネットをする割合は、小・中学生ともに全国値より低く、小学生で高位県とほぼ同じだが中学生は高い。しかし、高位県とのかい離は小さくなっている。

平日に家で1時間以上勉強する本県小学生の割合は、高位県より低い。2時間以上勉強する本県中学生の割合は、高位県より高いが全国値よりは低い。

家で学校の授業の復習をする本県児童生徒の割合は、小・中学生ともに全国値を大きく上回り、中学生は高位県より高い傾向が続いているが、小学生は高位県より低い。

国語、算数・数学の勉強が好きで本県小学生の割合は、高位県より低く、本県中学生の割合は、高位県とほぼ同じである。理科の勉強が好きで本県小学生の割合は、小・中学生ともに高位県より低い。国語、算数・数学、理科の授業が分かったと答えた本県児童生徒の割合も高位県より低い。しかし、国語や算数・数学、理科の勉強が好き、分かったと答えた本県児童生徒の割合は、中学校数学を除いて昨年度（理科は平成24年度）と比較すると増加の傾向が見られる。

職場見学や職場体験活動を行っている学校の割合は、本県中学校については全国値、高位県とほぼ同じであるが、本県小学校については全国値、高位県を大きく下回っている。